

第50回(昭和58年度)NHK全国学校音楽コンクール

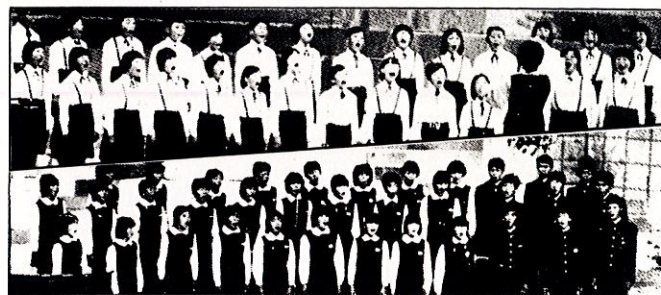
課題曲集

カセットテープVCK-818
¥2,000
〈6月21日発売〉

(小・中・高等学校)

★課題曲集の特徴

- 小・中・高等学校の課題曲が、この一巻の中に全部収録してある。
- 個性豊かな7合唱団体の競演集である。(小学校の部)二部合唱が2団体で(中学校の部)女声三部が2団体と混声三部1団体(高等学校の部)混声四部が2団体と女声三部が2団体、男声四部が1団体。
- ピアノ伴奏の独立演奏(カラピアノ)を収録。●NHK放送テープとビクタースタジオ録音と併収。



曲目：〈小学校の部〉1.時間(二部合唱)2.時間(二部合唱)3.時間(伴奏)

〈中学校の部〉4.心の馬(女声三部合唱)5.心の馬(女声三部合唱)6.心の馬(混声三部合唱)7.心の馬(伴奏)

1.2.作詩／前田祐美子1〜3.作曲／若松正司4〜6.作詩／三石真弓4〜7.作曲／中田喜直
1.東京放送児童合唱団2.杉並児童合唱団3.(ピアノ)斉木ユリ4.東京荒川少年少女合唱隊(女声)5.6.杉並混声合唱団
7.(ピアノ)土屋律子

曲目：〈高等学校の部〉1.みぞれ(混声四部合唱)2.みぞれ(混声四部合唱)3.みぞれ(男声四部合唱)4.みぞれ(女声三部合唱)5.みぞれ(女声三部合唱)6.みぞれ(伴奏)

1〜5.作詩／伊藤民枝1〜6.作曲／野田暉行

1.松原混声合唱団2〜4.東京放送合唱団5.日本合唱協会(女声)6.(ピアノ)田中瑤子

課題曲歌詞公募佳作作品・曲集

カセットテープVCK-819
¥2,000
〈6月21日発売〉

(小・中・高等学校全9編)

★佳作作品・曲集の特徴

- NHK全国学校音楽コンクール第50回記念として、課題曲歌詞をNHKが、公募した際の佳作詞9編(小・中・高等学校各3編づつ)に作曲した合唱曲集である。
- この9編の作曲は、気楽にのびのびと作られており、関係者の間では大変好評を得ている。
- コンクール参加の自由曲候補として最適である。
- このカセットはNHK-FM放送テープを使用した。

曲目：〈小学校の部(二部合唱)〉1.ほら、教室は宇宙だ2.地球がどんなに丸くても3.やぶのオーディオ ルーム
〈中学校の部(混声三部合唱)〉4.海になりたい5.消えた八月

1.作詩／金子満美子作曲／青島広志2.作詩／山本哲也作曲／坪能克裕3.中野栄子作曲／吉岡しげ美4.作詩／木下美紀作曲／加藤徹也5.作詩／栄谷温子作曲／黒沢吉徳
1〜3.東京放送児童合唱団4.5.杉並混声合唱団

曲目：〈中学校の部(女声三部合唱)〉1.グリーン・ゲイブルズのアンヘ

〈高等学校の部(混声四部合唱)〉2.夕やけに心をそめるとき3.ひとつの願い4.遠い人々

1.作詩／千田恭子作曲／吉岡しげ美2.作詩／小森田俊幸作曲／山本純ノ介3.作詩 高橋明子作曲 青島広志
4.作詩／平井 栄作曲／福士則夫

1.東京放送児童合唱団2〜4.平松混声合唱団

★お求めは、貴校ご指定のレコード楽器店、教材店、または株式会社教育研究社・〒177 東京都練馬区下石神井4-19-2 ☎03(995)5410へ至急ご注文下さい。
お問合せは／ビクター音楽産業(株) 教材課・〒150 東京都渋谷区神宮前4-26-18ピアザビル ☎03(405)5151(代表)

いつも新たな感動を Victor

第32回 東西四大学合唱演奏会

同志社グリークラブ

早稲田大学グリークラブ

関西学院グリークラブ

慶應義塾ワグネル・ソサエティー男声合唱団

第32回 東西四大学合唱演奏会



1983年6月25日(土)／東京文化会館大ホール
6月26日(日)／五反田・簡易保険ホール
主催・東西四大学合唱連盟

ごあいさつ

本日はお忙しいところを、東西四大学合唱演奏会に御来場下さいまして、誠にありがとうございます。

昭和27年に第1回演奏会を開催して以来、着実に回を重ね、今年で32回を数えるに至りました。これもひとえに皆様方の暖かい御支援の賜物と、四大学の部員一同、深く感謝いたしております。

それぞれ長い伝統を持つ四大学が、東西の隔り乗り越え、一堂に会してこのような演奏会を開きますことは、各団体にとってきわめて大きな刺激となると共に、部員個人にとっても、深い友情が芽生え育ってゆく素晴らしい機会であります。私共の日頃の成果を十分に発揮し、さらにこれからも“より高い音楽”目指して切磋琢磨してい

くつもりしております。

最後に、本日の演奏会を催すにあたりまして、御援助、御指導下さいました諸先生、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともより一層の御鞭撻のほどをお願い申し上げます。

東西四大学合唱連盟



同志社グリークラブ顧問・遠藤 彰

還暦を越えている私が、年がいもなく盲腸炎で、突然京都北白川にあるキリスト教系の病院に入院して、数日が過ぎた頃のことである。病院の礼拝に、大学の研究室で私と隣りどうしの深田未来生教授が説教にやってきた。彼はこの5月、母校のボストン大学から永年の功績に対して表彰を受けるため、3週間程渡米し、帰国した直後であった。彼は説教の中で、「日本人は走りすぎている。私はアメリカから帰って来て日本人の忙しさをまざまざと感じた。



早稲田大学グリークラブ会長・上田 稔

今年も東西四連の季節がやって参りました。長い伝統と実績をもつ四大学の豊かなハーモニーを耳にすることを、私も身内のひとりとして、またファンのひとりとして、大変楽しみにしている次第です。

早稲田大学グリークラブは、昨年渡米演奏旅行や大学創立百周年記念の特別演奏会等、例年以上のハードスケジュールをこなし、その音楽に磨きをかけました。今回の四連では、指揮者に三年ぶりに小林研一郎先生を、ピアノ



関西学院グリークラブ顧問・今田 寛

卒業アルバムのゼミ写真の横に、“先生のお言葉”なるものが要するというのでゼミ生が頼みに来た。そして次のような短文を書いた。「関学の校歌に“若きは力ぞ”という一節がある。ふりかえてみて、“あの時は力一杯やった”という思い出のない人生はさびしい人生だと思う。若い時に力一杯やるものはスポーツでも、文化活動でも、学問でも何でもよい。私には学問があった。あの時あれによく耐えたという思い出が今を支えている。グリーの諸君の日常をみると、やはりよい思い出を



慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団部長・福岡正夫

私どもワグネル・ソサイエティー男声合唱団にとって、昨年1年は中国への演奏旅行など多面的な活動の年でありましたが、同時に昨秋は永年ご指導いただいてまいりました木下保先生が突然ご他界されるという衝撃の年でもありました。今後とも先生のご遺志にもとらぬ立派な演奏活動を続けてまいりたいものと、部員一同心に銘じ、あらためて努力を積み重ねている昨今であります。

ところでこの東西四連の演奏会も、

これからは私たちも歩いていこうではないか。」といていた。

思えば日本人は走りすぎている。合唱音楽についてもそうであろう。欧米の合唱団よりも技術的に優れているといわれる日本の合唱団は、毎日の厳しい練習と訓練によって走りに走って音楽を創ってきた。それは100年しかない日本の西洋音楽の歴史の中では仕方のないことであろう。しかし100年後には日本でも歩く音楽が創られることを私は夢みている。

ストに初めて西川秀人先生をお迎えして、「縄文」という難曲に挑みます。ことによると、いつもと少し違った早大グリーが、そこにはあるのかも知れません。昨年渡米に同行して、至る所で見せられた彼らのバイタリティーに、私は期待したいと思います。

今回の演奏会が、四校そろって立派な成果をあげ、互いに親睦を深めるものになることをお祈りすると共に、今後も宜しく御指導を賜らんことを皆様にお願ひ申し上げます。

つくりつつあるなとよく思う。今日一緒に演奏会をもつ東西の四大学の合唱団はこの点ですべて同じだと思う。偏差値偏重の世の中で、何か小さくほどほどにおさめてしまう若い人の多い中で、自分たちの本当の若さを、力を、今日はホール一杯にひろげてほしい。これは世直しともいえる。2週間後には若さを合唱にかけ、豊かな思い出をもつ東西四連のOBが大阪に集って、第四回の演奏会を持とうとしている。それも楽しみにしている。

今回でいよいよ第32回を迎えることになりました。有名な詩人エリオットの言葉に、伝統はそのままをそっくり持っていくことはできないという趣旨のものがありますが、すでに築かれた30年の伝統も、参加四大学の機まざる努力なしには維持向上できないことは言うまでもありません。が、同時にまた、それにはお聴き下さる皆様の側の暖かいご協力、ご激励も不可欠でありまして、最後にその点を切にお願ひ申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

東西四大学OB合唱連盟

恒例の東西四大学合唱演奏会、心よりお慶び申し上げます。

毎年この頃になると、夏の象徴とも言えるような、現役の皆さんの若々しくエネルギーな歌声が聴ける事は、社会に出てしまった私達にとっては誇りであり、かつまた羨望の種でもあります。

東京六大学合唱連盟

本日、東西四大学合唱演奏会が催されますことを、心からお祝ひ申し上げます。

長い梅雨が終わり、初夏の陽射しが眩しく感じられる頃、東西の大学合唱団の競演が行なわれるのを、我々は期待に胸をふくらませつつ待ちわびるのです。それは、激しい感動を体験した

関西六大学合唱連盟

第32回東西四大学合唱演奏会を迎えられます皆様に心よりお祝ひ申し上げます。

複数の団体が、しかも地理的条件をのりこえて、一つの演奏会を成功させるということには、非常に多くの困難があると思います。それも今年で32年目、いままさながら『東西四連』の音

日本女子大学合唱団

第32回東西四大学合唱演奏会を迎えられますことを、部員一同、心からお祝ひ申し上げます。

初夏を感じさせる太陽が日ごとに輝きを増すこの季節に、皆様方の心のこもった躍動的な演奏を拝聴できます日を大変待ち遠しく思っております。東京と関西という離れた地で磨きをか

神戸女学院大学コーラス部

第32回東西四大学合唱演奏会の御開催を心よりお慶び申し上げます。

今年も青葉の季節とともに、すばらしい演奏会を聴かせていただける日がやって参りました。

一年を通じてそれぞれ独自の幅広い活動をなさり、関東・関西と地理的にも隔たっておられますのに、今年で32

ます。音楽と言う素晴らしい絆によって、関東と関西と言う地理的隔たりを越えて結ばれている皆さんの姿に刺激されてか、私達OBの集いも年を経るごとに熱がこもり、今年は7月3日にザ・シンフォニーホールで開催の運びとなり、『打倒現役!』を合言葉に練習に励

いという欲求と、何かしらを四校の演奏から学びとってやろうという意気込みの入り混じった不思議な感情であり、貴演奏会は、今までその期待に充分応えてくれました。

何故、東西四連はそれ程までに、我を魅了せずにはおかないのでしょうか。恐らくは、メンバー各個の合唱に

楽に対する情熱と意欲には、すごいものを感じさせられます。

関西六大学合唱連盟の中にあって、関学グリー・同志社グリーは他4団体を大いに刺激し、また影響を与えてきました。本日の演奏会においてもきっと、東京の多くの合唱ファンを魅了することでしょうね。そういえば、昨年

けてきた男声合唱のダイナミックなそして繊細な響きは、私共の心を捕えて離しません。それは、高い志に支えられた伝統が受けつがれ、常に新しい可能性を求めたゆめぬ努力と情熱の結晶であるからなのでしょう。また、合唱の魅力は、ふれあいによる人間の輪によって織りなされているように思わ

んでおります。

どうか本日も、そんな私達を歓喜の渦に巻き込むような、熱い歌声を聴かせて下さい。

最後になりましたが、今後一層の御活躍をなさいますようお願い申し上げます。

対する情熱の深さと、それに裏付けられた高度な技術によるものだと思われます。その情熱が、地理的な隔たりをも乗り越えているのでしょう。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功を願うと共に、この情熱を原動力とした東西の大学交流と、貴連盟の限りなき御発展をお祈り致します。

大阪フェスティバルホールのステージに立った慶應ワグネル、早稲田グリーがそうでした。遠いこの関西の地からせいっぱい応援させていただきます。

最後になりましたが、本日の演奏会の成功を確信しつつ、貴連盟及び加盟各合唱団の一層の御発展を心よりお祈り申し上げます。

れます。時間的、空間的なものを越えた美しい一つのハーモニーは、音楽を愛するものの心を和らげ暖め、深い友情の花が咲き育つことと信じております。

最後に、本日の演奏会の御成功と、これからの限りなき御発展をお祈り致しております。

えるひとときを過ごさせていただけることをたいへんうれしく思っております。

最後になりましたが、本日の演奏会の御成功とともに、今後なお一層の御発展と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

■ エール交歓

25日

同志社グリークラブ
早稲田大学グリークラブ
関西学院グリークラブ
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

26日

関西学院グリークラブ
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団
同志社グリークラブ
早稲田大学グリークラブ

第1部

■ 同志社グリークラブ

『MISSA MATER PATRIS』(Elliot Forbes版)

Kyrie
Gloria
Credo
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

作 曲 Josquin des Prez
指 揮 福 永 陽 一 郎

■ 早稲田大学グリークラブ

『縄文』(男声合唱とピアノのための)

I. 透明
II. 曙
III. 行進
IV. 波の墓

—男声版初演—

作 詩 宗 左 近
作 曲 荻 久 保 和 明
指 揮 小 林 研 一 郎
ピアノ伴奏 西 川 秀 人

——intermission——

第2部

■ 関西学院グリークラブ

『ギルガメシュ叙事詩』《後篇》

——男声合唱とナレーターのための(1983)—— 矢島文夫の訳による “初演”

1. 光をめざして	作 曲	青 島 広 志
2. 追悼歌	指 揮	北 村 協 一
3. 航海		
4. ノアの函船の物語		
5. 試練		
6. 神話のおわり		
7. 終末の合唱		

■ 慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

『Zigeunerlieder』(ジプシーの歌)

1. He! Zigeuner!	ヘイ! ジプシー!	作 詩	H. Conrat
2. Hochgetürmte Rima-flut	その名も高きリマの流れよ	作 曲	J. Brahms
3. Himmelgabes Liebe	授った恋人	指揮・補編曲	畑 中 良 輔
4. Einst ein küsschen gab	唯一度の接吻を	ピアノ伴奏	三 浦 洋 一
5. Der Tanz	踊り	独 唱	瀬 山 詠 子
6. Ledig bleiben Sünde wär!	独身でいるのは罪悪		永 田 峰 雄
7. Heiligem Eide	聖き誓い		
8. Gute Nacht	別れ		
9. Meine Abendstern	我が夕星		
10. Mond verhüllt sein Angesicht	月さえかざる		
11. Abendwolken	夕雲		

第3部

■ 合同演奏

男声合唱とピアノのための『ゆうやけの歌』

作 詩	川 崎 洋
作 曲	湯 山 昭
指 揮	関 屋 晋
ピアノ伴奏	大 久 保 洋 子

「MISSA MATER PATRIS」



曲目解説・福永陽一郎

15世紀から16世紀にかけて、フランドル地方、つまり今日のベルギー南部とそこに隣接する北フランスは、たいへんな音楽的繁栄をほこっていた。ギヨーム・デュファイ、ヨハネス・オケゲム、ヤコブ・オブレヒト、アントワヌ・ブルーメル、クレメンス・ノン・パバ、ロランド・ラッスなど巨大な音楽家はいずれも、いわゆるフランドル楽派＝ネーデルランド楽派と呼ばれて、この地方の出身者であり、同時に当時の全ヨーロッパの主要な宮廷と教会で活躍した、音楽史上不朽の名をとどめる大家たちである。ジョスカン・デ・プレもそうしたフランドル楽派の代表的な作曲家の一人である。

ジョスカンは1440年頃、おそらくとも1450年までに、今日のベルギー、フランスの国境地帯である「エイノー地方」Hainant で生まれた。幼少の頃より聖

カンタン教会の会堂合唱児童となり、作曲法も学んだ。パリでオケゲムに師事したとも言われている。

1459年からイタリアへ行き、1507年フランドルに戻るまでの間、ミラノの聖堂の歌手やローマのカペラ歌手、あるいは1505年から15年にかけてはフランス王ルイ12世の宮廷で活躍するなどの活動を行った。故国に帰ってからは皇帝マクシミリアン一世の要請で、コンデの町のノートル・ダム寺院の僧院院長の地位につき、この地で晩年を過ごし、1521年8月27日に亡くなった。

ジョスカンの作品の数は多い。在世中に、17曲ものミサ曲が発表されているほか、モテットや讃歌（ヒムヌス）、詩篇などの宗教音楽が約90曲、世俗合唱曲が約70曲残されている。これらの作品は、作曲技法の熟達、表現の多様さ、内容の深さなどで、当時の音楽作品中、群を抜いた出来映えを示している。あらゆるポリフォニーの技法を駆使しながら、けっして技巧過多におちいらず、理想的な簡潔明確な形態をとっている。ジョスカンが到達した芸術的水準がレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画作品と比較されることはそれほど理不尽なことではない。

「ミサ・マーテル・パトリス・エト・フィリア」は、ジョスカンの得意としたパロディ・ミサのひとつであるが、主旋律として借用された元の曲は、ジョスカンと同時代のやはり著作な作曲家、アントワヌ・ブルーメルの三声のモテット、「マーテル・パトリス・エト

・フィリア」である。このモテットをアメリカのシャーマー社から出版した音楽学者でハーヴァード・グリークラブの指揮者でもあったエリオット・フォーブス教授によれば、この曲は15世紀の合唱曲としてはごく珍しいことに、特別に男声合唱のために書かれているとのことである。

筆者がこのミサ曲を初めて知ったのは、1961年に、ハーヴァード大学のグリークラブが初めて来日した折、京都で同志社グリークラブとジョイント・コンサートを持ったのだが、その記念に、指揮者のエリオット・フォーブス教授から署名入りの楽譜の贈呈を受けたときである。その演奏旅行で、ハーヴァード・グリーは、このミサ曲をレパートリーにしていたから、実際にも聴いたことになる。

日本の代表的中世音楽史家の皆川達夫先生も、このミサに眼をつけられて、男声合唱用に編曲されており、その皆川版は立教グリーをはじめ、かなりの大学男声合唱団にうたわれてきたが、フォーブス版による演奏は国内の合唱団がうたうのは初めてではないだろうか。皆川版が原調（調子記号で「ヘ」調）であるのに対し、フォーブス版は半音下げであり、歌詞づけにも違いがある。ルネッサンス期の楽譜の実用化において、普通におこる事実であるが、筆者は、フォーブス版に従うことに躊躇しなかった。

glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnum.
gloriam tuam.
Domine Deus, Rex coelestis, Deus Pater omnipotens.

Domine Fili unigenite, Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris,
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis,
Qui tollis peccata mundi,
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

Quoniam tu solus sanctus. Tu solus Dominus.
Tu solus altissimus, Jesu Christe,
cum Sancto Spiritu,
in gloria Dei Patris. Amen.

天にいます神には栄光が
そして地上では
心の良い人たちに平和がありますように
私たちはあなたをほめ、あなたを祝福し
あなたを崇め、あなたを讃え
あなたの大きな栄光に感謝を捧げます
主である神よ、天の王よ
全能の父である神よ

ただ一人の御子であられる
主たるイエス・キリスト
主なる神、神の小羊、父の御子
この世の罪を除きたもう方よ
私たちをおあわれみ下さい
この世の罪を除きたもう方よ
私たちの謝罪をお受け下さい
神の右側にお座りになられるお方よ
どうぞ私たちを、おあわれみ下さい

同志社グリークラブ 指揮者・福永陽一郎



1926年神戸に生まれる。東京音楽学校(現・芸大)本科ピアノ科出身。井口基成、豊増昇氏にピアノを師事。在学中より東宝交響楽団(現・東響)で近衛秀磨氏の助手をつとめ、同氏に作曲法・指揮法・管弦楽法を師事。M・グルリット氏にオペラ指揮法を師事。'51年藤原歌劇団に入団。'56～'65年同団常任指揮者、その間同団第三次渡米公演に同行。'59、'61、'63、'71年のNHK イタリア・オペラ来日公演に際し日本側代表として参加、副指揮者、合唱指揮者をつとめる。合唱音楽に関しても造詣が深く、'52年畑中良輔氏と共に東京コラリアー

ズを設立し日本最高のプロの合唱団に育て、またアマチュア・コーラスを30年にわたり積極的に指導。指揮者、講師、審査員等、幅広く活躍する。合唱用の編曲は数百曲に及び、合唱界の代表的存在である。また、評論活動も注目され、著書に「演奏の時代」(紀伊国屋書店)、「私のレコード棚から」(音楽之友社)がある。80年の藤沢市民オペラ「カルメン」の上演は多大な反響を呼んだ。今年10月9、10日には藤沢市民オペラ「ウィリアム・テル」(本邦初演)を指揮する。

第32回演奏会に寄せて

「東西四連」の会も、第32回を迎えて、今年は、ちょっとした様変わりを見せることになった。第6回から(第7回を除いて)ずっと慶應ワグネルを指揮しておられ、また、合同合唱の指揮も前後5回にわたってとられた木下保先生が、昨年、残念にも亡くなられて、いままで合同の指揮(計2回)でしかこの演奏会に登場なさらなかった畑中良輔教授が、いよいよ慶應ワグネルを単独で指揮されての初出演である。日本の大学合唱の最高水準が展開される場に、つとに高名な畑中：ワグネルの組合せが現出することへの期待は大きい。

福永陽一郎

また、合同合唱には、今日の日本合唱界において信望の厚い関屋晋さんの、これも「四連」初登場である。新鮮な成果が生まれるに違いない。

そして、わたくしの側だが、同志社グリーにとっても、指揮者の私にとっても、これまた初体験の中世ルネッサンス期の宗教曲である。馴染みの薄いポリフォニー、非ロマンティックの表情、自然さを越えぬ発声。凡そ、いままでになかった音楽性や技術が要求され、私にとっても決して得意の分野ではない。はてさて、新しい地平が開けるかどうか。これも乞御期待。



KYRIE

Kyrie eleison,
Christe eleison,
Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ
キリストよ、あわれみたまえ
主よ、あわれみたまえ

GLORIA

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te, benedicimus te, adoramus te,

なぜなら、あなただけが聖く
あなただけが主なる方で
あなただけが最も高い方だからです
聖霊を従え
神の栄光に包まれたイエス・キリストよ
アーメン

SANCTUS

Sanctus, Sanctus, Sanctus
Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな
万軍の主なる神は
あなたの栄光は天と地に満ちています
天の高いところにホザンナを

Benedictus qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

主の御名のもとに来るものは
祝福されるだろう
天の高いところにホザンナを

AGNUS DEI

Agnus Dei,
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
Dona nobis pacem. Amen.

この世に罪を除きたもう神の小羊よ
私たちをおあわれみ下さい
この世の罪を除きたもう神の小羊よ
私たちに平安をお与え下さい、アーメン



同志社グリークラブ

東京のみなさん、こんにちは。私たち同志社グリークラブは2年ぶりに東京へやって参りました。東京での演奏の機会はこの東西四連、そして立教グリーとの交歓演奏会とがありますが、四連は隔年、同立は不定期ということで、今回は第30回の四連以来の東京での演奏になります。4年生以外をはじめの東京ということで大いに張りきっています。また、いつも気になる人数も今回は60名を越し、同志社グリーの四連のステージでは近年にない人数となりました。ともかく他の3大学にくらべて人数の面では多少のハンディを背負っているかもしれませんが、それを感じさせない演奏を東京の皆様にお聴かせしたいと思っております。

さて私たちはこの四連がおわり、そして京都にもどって久しぶりの同立交歓演奏会をおこなった後、いよいよ7月19日にヨーロッパ演奏旅行に出発します。4年前の中国以来の海外演奏旅行ですが、今度はなにしろ音楽の本場でありまして、「私たちの演奏に果たして満足してくれるだろうか。」といった

不安があります。しかし何といってもはじめて外国へ行くということへの期待が、そういった不安もおしやっしまいそうです。ともかく憧れのヨーロッパで本場の音楽に存分に触れ、そしてつきなみな言い方かもしれませんが、ひと回りもふた回りも大きくなって帰って来ればと思います。

ところでグリーライフの一年は、定演、四連をはじめとする数回の演奏会、演奏旅行、レコーディング、お座敷(テレビ、ラジオ出演など)、また女子大との合コン・合ハイとバラエティにとんだ一年をおくっています。このように充実した活動を行ない、一見はなやかなグリーライフですが、多くの行事を消化していく上では、さまざまな困難が待ちうけ、グリーメン一人一人はそれぞれに悩みをかかえているようです。学業との両立、金銭的な悩み、女性問題(?)、そして何よりもクラブに対する考え方の違いから生ずる問題など様々な問題に悩まされつつも、それぞれ必死にクラブにしがみついている姿もしばしばです。何十人もの様々な

人間の集りである以上、考え方も人それぞれであって当然でしょう。しかしそれでも同志社グリーがひとつのクラブとしてやっていけるのは、みんなの歌への情熱に他ならないと思います。「歌を愛する」という一点でみんなは結びつき、そしてひとつになって、あらゆる困難をものりきっていけるのです。

同志社グリークラブは昨年、長年の本拠地であった京都を離れ、大阪での定期演奏会を実現させました。そして多くの方々のおかげで何とか成功をおさめることができ、今後は同志社グリークラブ定期演奏会といえ、12月大阪、ザ・シンフォニーホールといわれるようになればと思っています。これからも福永陽一郎、富岡健、大久保昭男諸先生、そして数多くのOBの方々の御指導のもと、一層の努力を続け、常に挑戦していく姿勢を持ち続けるつもりです。今後とも、私たち同志社グリークラブに皆様の御批判と、変わらぬ御声援をお願い致します。

DOSHISHA COLLEGE SONG

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for god and native land.
Dear alma mater sons of thine
Shall be as branches to the vine.
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide /

顧問・遠藤 彰/技術顧問・福永陽一郎/指揮者・富岡 健/ヴォイストレーナー・大久保昭男

TOP TENOR

西山 勲(経4)春日丘
斎藤 睦彦(神4)福島
豊田 尚紀(経4)郡山
梶原 昌紀(法3)済々黌
河村 一良(商3)福岡
宮井 健(工3)雲雀丘
森 知史(工3)北野
佐々木 渉(経3)高松西
山中 光(商3)高陽
小林 正明(法2)高槻
小杉 泰年(法2)室蘭栄
二宮 孝之(経2)星陵
大畑 泰年(工2)旭
尾池 智治(法2)泉陽
斎藤 斎(経2)同志社香里
山田 成彦(経2)湘南

SECOND TENOR

諸江 修(文4)高崎
須藤 彰治(商4)同志社香里
鈴木 典夫(文4)福島
吉田 進次(商4)住吉
日比 敏也(経3)大府
中小路智一(法3)大教大附天王寺
篠原芳兵衛(商3)大和川
辻 透(商3)洛北
福原 伸司(工2)井口
木下 勝(法2)星稜
久保 行史(経2)同志社香里
中村 健史(法2)紫野
竹本 滋和(法2)国府

BARITONE

藤井 啓三(商4)修道
長谷川恵一(経4)五条
仲 貴司(商4)宝塚
小田 尚紀(経4)清風
内野 直樹(経4)明星
山岡 敬(法4)城東
伊勢三十三(文3)篠山鳳鳴
大嶋 誠司(商3)小倉
山内 豊(商3)桜塚
藤野 寿男(工2)山口
灰塚 弘(工2)同志社香里
神谷 伸行(文2)中村
小木曾信之(工2)長良
斉藤 高弘(文2)藤島
藤 浩和(経2)筑紫
内田 智之(次2)鎌倉学園

BASS

橋本 裕和(経4)同志社
鋒山 琢磨(文4)同志社香里
松栄 良太(法4)同志社
岡田 和弘(文4)三木
片岡 和彦(経3)小倉
久保田哲哉(工3)三池
中西 宏(文3)上宮
中西 雅樹(経3)泉北
中田 克之(法3)交野
西尾 強志(文3)上宮
白井 幸彦(法3)福岡
高橋 圭二(法3)丸亀
田中光太郎(経3)佐賀西
和田 秀樹(経3)益田
遠藤雄一郎(工2)米子東
加藤 栄嗣(法2)米子東
小西 正俊(商2)同志社香里
松浦 悟史(文2)東大津
田中神一郎(工2)住吉
植田 禎一(法2)郡山

「縄文」(男声合唱とピアノのための)

みどり讃 作詩者・宗 左近

どんなに年老いた樹も、若葉のもえでることがある。

すると、なか空がほのかなみどりに煙ってくる。かすかにうるんでくる。

赤ん坊の呼吸に似た柔らかな霞。あれは、こまかい液体の飛沫なのか、気体の飛沫なのか、それとも？

数年前、荻久保和明さんの作品『縄文』を武蔵野合唱団の演奏で聴かせて

作曲者・荻久保和明

本質的には混声合唱で発想されたものを男声合唱に編曲するのは不可能である。「縄文」においても然りで、数々の困難が僕の前に立ち塞がった。僕は慎重にしかし勇気を持って作曲家でなければならぬような変更を加えていった。

第一に対位法の顕著な僕の作品では単純な声部転換による処理は不可能だ。僕はメロディーを変えた。第二に混声合唱でなければ不可能な複合和音が存在する。僕はハーモニーを変えた。その他、声部カット、非和声音のカット

もらった時、わたしは二十代の作曲家に吐いた。

「若さは哀しみをも光と化するのですねえ。」

——当然のことながら、どんなに年老いた樹からも、もえでるのは老葉(?)ではなくて、若葉である。

むろん、荻久保さんはもとより早稲田グリーンクラブのみなさんも、そして

など男声合唱に適当でないと思われる個所には遠慮なくメスを入れた。しかしリズム的な側面には何一つ手を付けなかった。そうすることを必要としなかったからである。

『「縄文」を男声合唱に編曲してくれませんか。』と指揮者の小林先生からお電話をいただいた時、僕は『やった』と思った。何故ってそれは僕にとってずっと前から夢みていた理想的な組み合わせだったから。

僕は小林研一郎という指揮者が大好きだ。時々すごい音というのがある。

このわたしも、若葉である。ただし、わたしの作品になくて、この会場にあるもの、それは、「哀しみをも光と化する」プロセスの醗酵ではなかろうか。

赤ん坊の呼吸に似た柔らかな霞、あれこそは液体で気体の、つまり音楽の飛沫にはかならない。

ゲツと思う瞬間がある。書かれた音を越えているとでも言うのか、作曲者の意志の外に存在すると思えない響きがある。彼はそれを知っている。そしてそれを本能的に作り出すことのできる指揮者だ。彼は内的緊張(精神の持続)を外部的緊張(音達の持続)として捉える術を知っている。そしてそれを自然に表現することのできる数少ない指揮者の一人でもある。

幸いにも早大グリーの諸君はそれに応えることのできる男達の集まりだ。僕は期待している。ス・ゲ・エ演奏を。

解説

三年前、私達は定期演奏会で荻久保和明先生に作曲を委嘱し、『炎える母』を初演した。宗左近氏の悲しみに満ちた戦争体験から生まれた同名の詩に、作曲者の現代的リズムが加えられ、この曲は私達に異様な興奮と感動を与えた。ぜひもう一度あいう曲をやりたいという欲求は私達の間で抑え難い程高まった。

本日演奏される『縄文』も、やはり宗左近氏の詩にもとづいて作曲されている。『炎える母』に見られる様な直接的表現はこの詩の中では影をひそめ、むしろ強制的に戦争に進まされ殺され

ていった人間の姿が静的に表わされている。縄文土器の破片から、我々は黙って死んでいった人々の無言のメッセージを受けとるのである。

荻久保先生のつけられた曲もだから、極めて抑制されたものになっている。特に終楽章においては“祈り”を封じ込めるという意図をもって作られている。全体的にこの曲のもつ、宗教的なまでに高められた悲しみを歌うのは、私達にとって楽なことではない。しかし練習で小林先生の指示を受けるにつれ、この詩とこの曲の持つ深い意味に私達は戦慄し、奮い立つのである。

I. 透明

流れる	水に魚が	溶ける	明日に昨日に
雲が空に	顔を閉じて	光りが別れに	突きあって
沈む	夕日が枯葉に	眩暈に紅が	宙に今日が
	涙に瞳が	縁どられ	目をむいて
	灯をうつし	地球が紅に	



早稲田大学グリーンクラブ指揮者・小林研一郎

1940年福島生まれ。東京芸術大学、作曲科・指揮科を卒業。作曲を石井真礼生、指揮を渡辺暁雄、山田一雄の各氏に師事。71年東京交響楽団を指揮してデビュー。1974年、ブタペスト国際指揮者コンクールに優勝、特別賞を受賞し、ハンガリー国立放送交響楽団の定期を指揮し、センセーショナルなヨーロッパデビューを飾った。1975年国立ハンガリー交響楽団と国立放送交響楽団に、第一客演指揮者として招かれ、ハンガリーでは英雄的存在として、多忙な日々を送っている。

他に、アムステルダム・フィルハーモニーの第一客演指揮者、ブラハの春、アムステルダム・コンサートへボウ、ライブツィヒゲヴァントハ

メッセージ 小林研一郎

君達の燃える目、情熱に接する事は、何という大きな喜びだろう。自分達の青春を一音符、一フレーズに込め、それらを輝かせようといつも燃え上がっている。

外国や日本でのおびただしいコンサートにおわれ、ともすれば音楽の

ウス、シェタツツカベレ・ベルリン、ドレスデンシュタツツカベレ、チェコフィルハーモニーと枚挙にいとまがない。

海外でのオペラも手がけ、ローマ歌劇場とも契約があり、日本での蝶々夫人も名指揮ぶりが話題を集めた。

日本ではN響をはじめとするほとんどのメジャーオーケストラに出演しているが、かつて早稲田大学グリーンクラブの音楽監督でもあった。

レコードは、フンガロトンからの「春の祭典」「R・シュトラウスの交響詩集」、ビクターからの「ロマンティック序曲集」が発売されている。現在、東京都交響楽団正指揮者、東京交響楽団主席客演指揮者、東京音楽大学講師。

心を忘れがちな僕に君達の燃える目は、初心を思い起こさせ、又音楽に対する情熱への強烈な導火線となる。

今日、このコンサートで君達の燃え尽きた魂を聞かせてくれることを望んでいる。

ピアニスト・西川秀人

5才よりピアノを始め伊達純氏に師事。1976年東京芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。1977年、イタリアに留学。国立ローマ・サンタ・チェチリア音楽院でヴィエンツェンツォ・ヴィターレ氏、レンツォ・シルヴェストリ氏に師事。同音楽院卒業。第7回セニガリア国際ピアノ

コンクールで第一位入賞。その後イタリア各地(ローマ、ボローニャ、ペーザロ、リミニ等)でリサイタルを開催。79年秋帰国。81年イイノホールでリサイタルを開催。NHK・FMとの録音、オーケストラとの共演など多方面で演奏活動を行なっている。

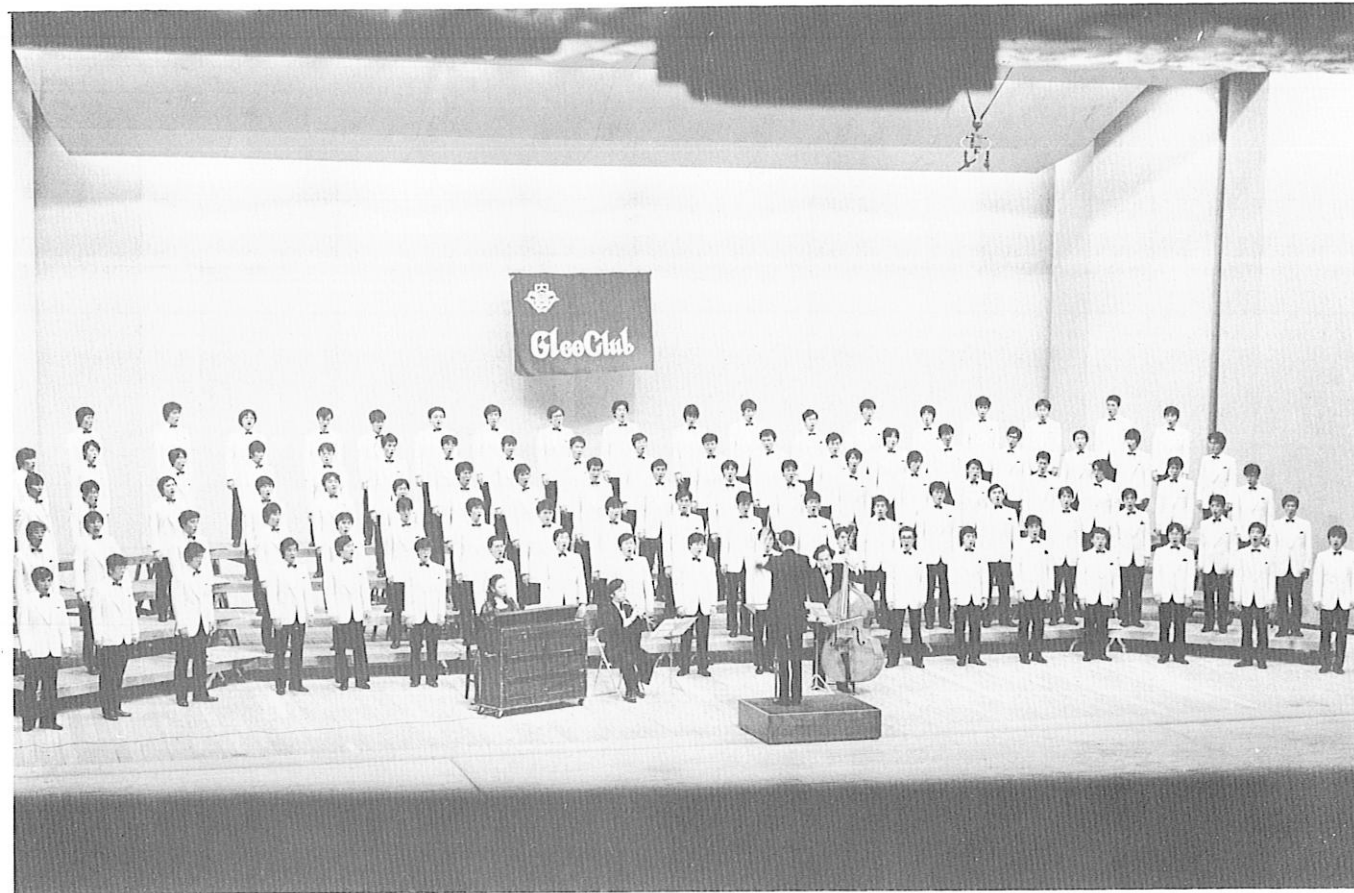
IV. 波の墓

ゆれあっている ゆれあっている
海のなかの暁
暁のなかの海
光りに風を 風に光りを
突きぬけさせて死んだ稲妻
たとえわたしがきみたちの夢のなかの登場人物であるにすぎないとしても
きみたちは決してわたしの夢のうんだ人物であるはずはないことのかかしよ
燃えない炎の波 化石しない炎の墓
透明な時の波 縄文の破片の墓
溶けあっている溶かされあっている

水に血潮を 血潮に水を
突きぬけさせて沈んだ潜航艇
きみたちは決してわたしの歌に踊らされた音符であるはずはないことのかかしよ
たとえわたしがきみたちの歌の音符の影であるにすぎないとしても
暁のなかの海
海のなかの暁
きらめきあっている きらめかされあっている
夢に鏡を 鏡に夢を
突きぬけさせて裂けた潜望鏡
きみたちは決して地球の夜から落ちた星屑であるはずはないことのかかしよ
たとえわたしがきみたちの星屑から

欠け落ちた砂粒であるにすぎないとしても
砕けあっている 砕かれあっている
海のなかの暁
暁のなかの海
明日に昨日を 昨日に明日を
突きぬけさせて消えた夕焼け空
きみたちが決してわたしの鏡のなかの夢であるはずはないことのかかしよ
たとえわたしがきみたちの夢のなかの鏡であるにすぎないとしても
燃えない炎の波 化石しない炎の墓
透明な時の波 縄文の破片の墓





早稲田大学グリークラブ

都の西北・早稲田の杜にグリークラブの前身である合唱団が産声をあげたのは、明治末期のことでした。以来内外の暖かい励ましや歌の好きな幾多の先輩達の努力により、着実に成長を続け、今日に至っています。

数々の演奏会、演奏旅行（国内・海外）、テレビ・ラジオ出演、レコーディング、欧米合唱団との交歓など、年間を通じて、普通の学生ではちょっと味わえないような経験を沢山積んでいる、恵まれた音楽団体です。にもかかわらずグリーメンのひとりひとは紛れもなく普通の学生なのです。4万人の早大生の中のわずか100人を、私達が占めるに過ぎないのですが、その100人は早稲田大学をそのまま400分の1に縮小したようなものです。出身地は北は北海道から南は九州までに至り、中には幼少時代を海外で過ごした者もいます。地方色溢れる言葉が飛び交うのを聞くと、とても東京の大学の合唱団とは思えません。また早大の全学部からメンバーが集まっていますし、ユニホームさえ脱げば、趣味も人生観も合唱経験

も100人100様なのです。そして、この100人をひとつに結びつけるのが、「よい音楽を創ろう」という情熱であり、活動の中心が日々の練習であることは論をまちません。

早大グリーの近年の大きな特徴のひとつに、制度としての常任指揮者をおいていない、ということがあげられます。当東西四連におきましても、毎年のように指揮者が変わっているのが現状です。このことはハンディというよりはむしろ、ある年は圧倒的な迫力で、ある年はロマンチックに、ある年はモダンに……というようにその都度カラーを変えた「新生早大グリー」を生み出す原動力となっているのだと、私達は思っています。幸いにも、小林研一郎先生、福永陽一郎先生、田中一嘉先生、そしてヴォイス・トレーナーの山本健二先生といったよき理解者・指導者に恵まれ、早大グリーの活動は一層充実したものになっています。

今年の四連は3年ぶりに小林研一郎先生にタクトをとっていただき、またピアニストに初顔合わせの西川秀人先

生をお迎えしました。曲はこれも男声版としては初演にあたる荻久保和明先生作曲の「縄文」です。戦争を知らない私達グリーメンですが、レクイエムの色彩の強い、この迫力と緊張感と祈りに満ちた曲に果敢にアタックします。どうぞお楽しみ下さい。末筆ながら、この演奏を実現させるまで陰になり日向になり御協力をいただいた方々に感謝すると共に、御来場の皆様には、今後早大グリーがより一層飛躍するために、宜しく御批判、御高評の程をお願い申し上げます。

早稲田大学校歌

都の西北 早稲田の杜に
 聳ゆる薨は われらが母校
 われらが日ごろの 抱負を知るや
 進取の精神 学の独立
 現世を忘れぬ 久遠の理想
 かがやくわれらが 行手を見よや
 わせだ わせだ わせだ わせだ
 わせだ わせだ わせだ

会長・上田 稔／顧問・磯部 徹／指揮者・小林研一郎・福永陽一郎・田中一嘉／ヴォイス・トレーナー・山本健二

TOP TENOR

石井 潔(社4)豊多摩
 今中 徹(政4)甲陽学院
 兼子 裕(法4)早稲田
 佐伯 直(文4)府中西
 沼野 光重(法4)浦和
 佐藤 正基(社3)鶴岡南
 岡野 高広(社3)早稲田
 辻村 哲(商3)早稲田
 松永 伸介(文3)浅野
 山本 洋祐(商3)徳山
 敷下 真平(社3)東稜
 石川 了(文2)秋田
 大村 治郎(教2)浦和
 工藤 巧(理2)光陵
 坂本 桂一(文2)高松
 佐藤 圭彦(政2)都立大附
 杉谷 賢昭(政2)砺波
 野武 昭彦(法2)早稲田

SECOND TENOR

石亀 昌郎(文4)横浜翠嵐
 杉野 耕一(法4)今治西
 竹腰 昇(理4)青山学院
 芳賀 義也(政4)国立
 村田 清(法4)杉並
 大鹿 達人(文3)希望ヶ丘
 片桐 直彦(商3)小山台
 高瀬 正考(法3)淳心学院
 武田 知見(法3)丸亀
 利光 敬司(商3)大分上野丘
 南條 雅朋(文3)旭川東
 飯泉 悟(政2)東大附
 大内 勝利(文2)山形東
 川内 十郎(教2)榛原
 田中 規之(法2)立川
 東原 浩二(文2)福島
 能勢 大伸(政2)宝塚
 南小柿 謙(政2)早大学院
 山原 英治(法2)木更津

BARITONE

一門 俊光(文4)都立大附
 柿沼 新(教4)不動岡
 高橋 正(法4)会津
 安田 俊夫(商4)川越
 青池 昌博(文3)三鷹
 川和田宏憲(文3)仙台
 小林 幹郎(社3)市川
 近藤 剛広(理3)栃木
 菅野 達也(商3)八千代
 渡辺 明良(社3)釧路湖陵
 新井 康之(教2)不動岡
 蒲田 高士(法2)千葉東
 祖父江嘉高(政2)神戸
 原田 達哉(政2)山口
 水野 宏(法2)早大学院

BASS

相川 拓雄(政4)甲陽学院
 佐々木 豊(教4)立川
 笹原 優樹(商4)小樽潮陵
 平林 泰夫(法4)立川
 道浦 俊彦(政4)長尾
 山田 裕之(法4)桐朋
 渡辺 敦郎(政4)立川
 具志堅 泉(社3)光陵
 新保 裕之(文3)函館ラ・サール
 鈴木 秀樹(教3)神代
 為本 吉彦(理3)津山
 樽屋 尚之(法3)船橋
 新関 雅俊(理3)成蹊
 野山 広(文3)長崎南
 青木 進(文2)岐山
 青木 伸行(社2)静岡西
 尾崎 宏彦(政2)千葉
 高本 祐介(商2)松山北
 早野 元弘(政2)小田原

「ギルガメシュ叙事詩」《後篇》

あらすじと解説・青島広志

ギルガメシュ叙事詩がどんなものであるかについては、筑摩世界文学大系／古代オリエント集および世界の神話（筑摩書房刊）／メソポタミアの神話に詳しい。私の作曲した《前篇》と《後篇》は、それぞれ独立して演奏されるが、前篇のあらすじを一応記すと……

アッシリアのウルクの町にギルガメシュ王が住んでいた。彼は盟友のエンキドゥとともに、怪物退治をしたが、女神の求愛を退けたために友人を失ってしまう。後篇は、友人を失ない、人間の命のはかなさを知ったギルガメシュが、永遠の生命を探しに旅立つところから始まる。

① 愛する者を亡くして嘆き悲しむ男、という設定は、グルックのオルフェオにその例を求められる。ギルガメシュは、古いいつたえによって不死の生命を持つとされている老人ウトナピシュティムに会おうと決心し、洞窟の中を進む。

いくつかの要素が寄木細工のように組み込まれている。ギルガメシュ王の嘆き（ハ短調）、友人エンキドゥの想い

出（上行と下行型が異なる旋法）、歩み（ハミング）。後半は洞窟の中を進む様子が、距離を歌う合唱と、状況を示すシュプレヒコールによってあらわされる。

② 宿に泊まったギルガメシュに、女主人が、人生を楽しむように誘う。エンキドゥに対する追悼歌（途中、エンキドゥのテーマが次第に変質してゆく）と、それをささげる女主人の陽気な宴会の二部分からなる。

③ 女主人からウトナピシュティム老人の棲みかを聞き、ギルガメシュは海を渡る。

原詩の粘土板が破損しているため、歌うための詞は存在しない。従って、合唱はナレーター（山室静の著書による）のセリフから喚起される言葉をはなし、そこに8人のソリストが船の流れの様子を表現する。更に4声体加わり、オクターヴ内の12音すべてが同事に響くことになる。

④ 老人は、不死の生命は神からの特別な恵みで、得ようとしても不可能だと語る。

老人の昔話で、旧約聖書のノアの函

船と同じ物語である。神殿からの3人の神の声が洪水を予告する（プロテスト・ソング）。そして洪水（クラスター）。ウトナピシュティムは鳥を放ち、犠牲を捧げる（有節歌曲）。神の恵み（バルランド）。

⑤ ギルガメシュは自ら望んで試練を受けるが、寝入ってしまう。

3群にわかれた合唱が、それぞれ子守唄・レポーター・エンキドゥの残留思念をうけもち、そこにナレーターも加わる。

⑥ 試練に失格し、絶望したギルガメシュに、若返りの草が与えられる。しかしそれは、帰りの道、蛇に食べられてしまう。

きわめて速く演奏される前半と、①の再現である後半とにわかれる。

⑦ 人間の定めを悟ったギルガメシュは、ウルクの町へ帰ってゆく。

《前篇》のはじまりの歌の転用だが、改訂がどこまでされている。

以上、これは《前篇》と合併されて、ひとつの大きなオラトリオとなる。それはいつのことだろうか。



5. 試練

彼が両足の間に坐ると、眠りが雲のように彼の上に漂った。ウトナピシュティムは妻にむかって言った。「さあ、彼にパンを作って、枕許に置くがよい。」最初のパンは干からびてしまった。第2のは悪くなり、第3のは湿り、第4のは皮が白くなり、第5のは色が変わり、第6のは焼きたてで、第7のがまだ炭火の上にあるとき、男は目をさました。「ギルガメシュよ、パンを数えなさい。お前が眠った日の数がわかるだろう。」ギルガメシュは言った。「私の体を死神がたたくかんだ。寝室には死が坐っている。そして坐るところにはどこにも死がいる。私はどこへ行こう。」

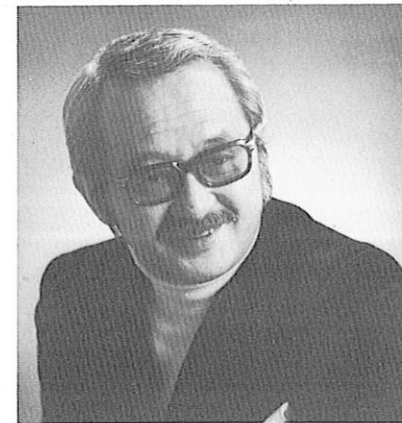
6. 神話のおわり

この草は生命を新しくする草だ。私はこれをウルクへ持ち帰り、食べさせよう。私も食べて、若かった頃に戻るとしよう。

ギルガメシュは（水が）冷たい泉を見た。彼は水の中へ降りていって水浴をした。蛇が草の香にひきよせられた。それは出て来て、草を取った。ぬけがらを生み出した。ギルガメシュは坐って泣いた。彼のほおを伝って涙が流れた。誰のために、わが手は骨折ったのだ。誰のためにわか心の血は使われたのだ。私自身には恵みが得られなかった。もう流れがそれを運び去ってしまった。

7. 終末の合唱

すべてのものを国の果てまで見たという人。すべてを味わいすべてを知ったという人。秘密を彼は見、かくされたものを彼は得た。洪水の前に彼はそのしらせをもたらし。彼は遙かに旅し、疲れ果てて帰りついた。

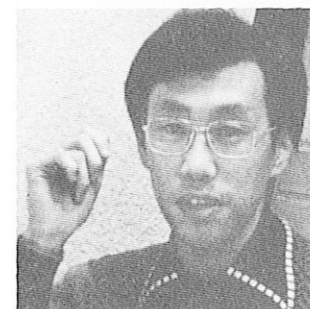


関西学院グリークラブ常任指揮者・北村協一

昭和29年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。第2回東西四大学合唱演奏会では、現役の学生指揮者として「月光とピエロ」などを指揮された。卒業後、東京コラリアーズ入団。昭和36年、藤原歌劇団入団。昭和38年同団によるプッチーニ「外套」を指揮され、昭和40年退団。昭和43年、二期会合唱団常任指揮者、昭和45年、二期会専属指揮者となられた。昭和48年、第6回文化

庁芸術家海外派遣研修生として渡欧。現在、二期会専属指揮者。東京室内歌劇場指揮者。その他多くの大学等の指導に当たられ、全国を奔走されている。また、関西学院グリークラブの常任指揮者としては、昭和40年の世界大学合唱祭（アメリカ）以来、計7度の海外演奏旅行に御同行いただいた他、毎年、東西四連とグリークラブリサイタルにおいて御指導いただいている。

第32回東西四連に寄せて 作曲者・青島広志



ちょうど1年前、初めて《前篇》の稽古に立ちあった時、私は生まれて初めての身震いするような感動をうけた。いやそれは感動をいうより、もっと本能的な体の奥深くからの振動を感じたのだ。更に言うなら、神殿の中にいるかのような荘厳さにくれたのである。これは、曲の内容がこうした叙事詩だからという理由でも、場所が教会を思わせるホールだったからでもなく、私が、ほとんど合唱団に埋没した位置で聴いていたせいだと思う。そばにはBas.があり、私はそこで確かに、はっきりとした倍音を感じとれたし、一糸乱れぬプレスも、一緒に呼吸した。また、団員間および北村先生との深い信頼関係も感じとることができた。

前篇の初演が終わった時、木下保先生と山田一雄先生が、とてもいい曲だとほめてくださった。その秋にレコーディングを終え、私はいつの日来かわからない後篇のために台本を書いた。

今年1月、オペラ「黄金の国」が東京文化会館にかかった時、定演で東京に来ていた小杉君が来宅、後篇を6月に初演したいとの事だった。依頼から初演まで5ヶ月足らずというのはとても短い。しかし私は、関学のためなら何だってやる！と心に決めていたので、北村先生からいただいた他の仕事を遅らせてもこのスケッチをとり、今、その最後の音を書きおえた。

The 25th Joint Concert

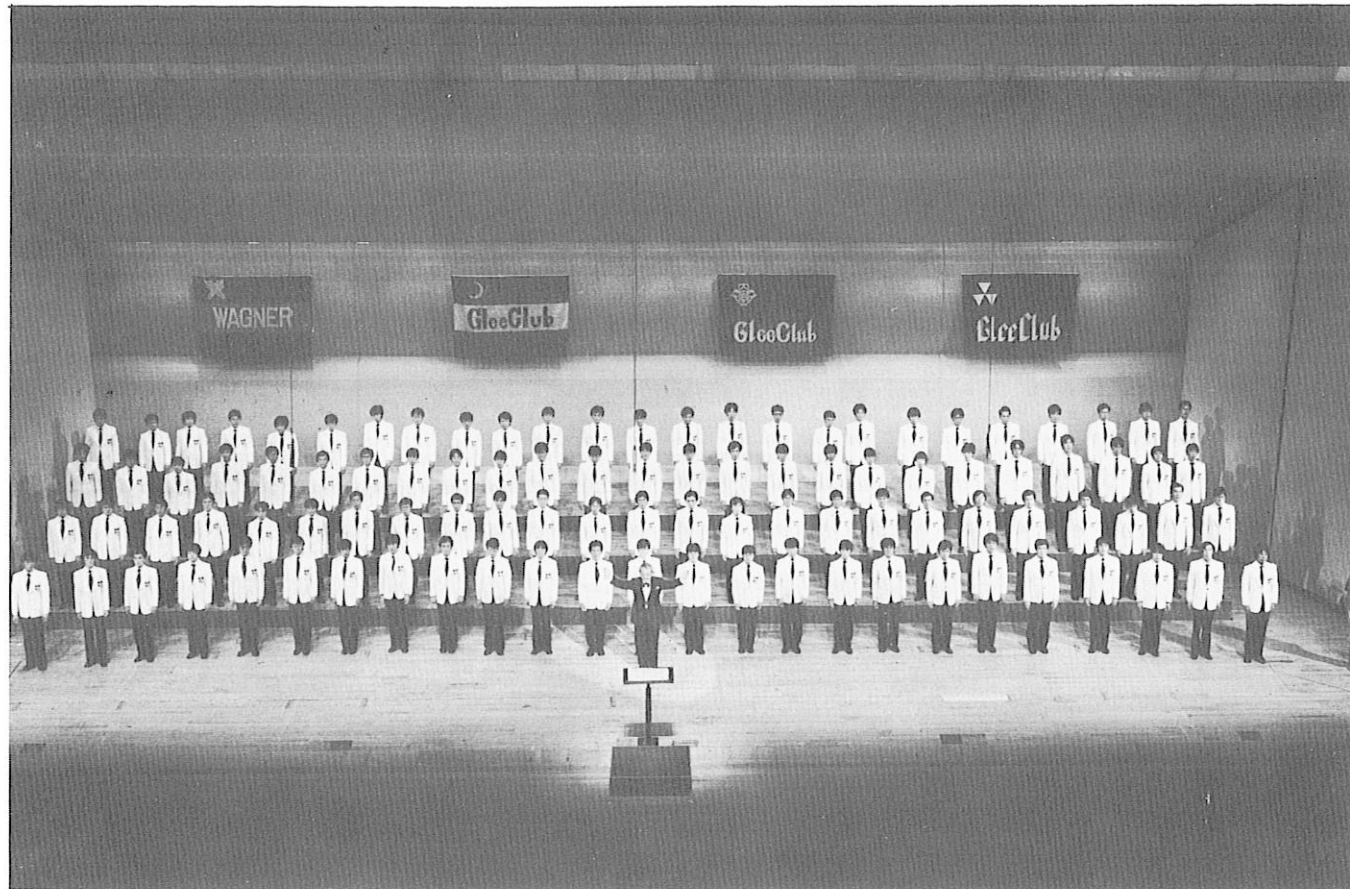
関西学院グリークラブ
横浜市立桜丘高校合唱団
横浜国立大学グリークラブ

〔曲目〕	〔指揮〕
I. 越後への道	村山弘也
II. カプレ「ミサ」	山根一夫
III. 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」	北村協一
IV. 幼年連禱	大村文子
V. Sea Shanty より	飛永信康
VI. Hallelujah	

1983. 7. 12 (TUE.)
P.M. 6:30開演
神奈川県立音楽堂

指定席900円／自由席600円

〔連絡先〕加藤 実 TEL.0462-52-2968



関西学院グリークラブ

関西学院創立後間もない1899年（明治32年）神戸原田の森に、日本最古の男声合唱団として、関西学院グリークラブが誕生致しました。この「グリークラブ」という名称は、時の院長、吉岡美国先生により命名され、わが国でグリークラブという名称は一度も用いられたことがなく最初でありました。

このように関西学院グリークラブは、日本のアマチュアの男声合唱界において、常に先駆者的立場にあったといっても過言ではないと思います。我々のその力強い歌声は、学院の恵まれた環境と宗教的雰囲気の中、また、内外における暖かい御指導に支えられ、そして何よりも歌うことをこよなく愛された幾多の諸先輩方の努力によって、今年84年を迎えるに至りました。現在、総部員数160名とふくれ上がり、我々グリークラブ始めて以来の巨大合唱団となりました。このように巨大なクラブになった今日、部員一人一人が我々クラブのモットーであるMental Harmonyを自覚し、また多くの活動を通して、本当のMental Harmonyを創造して

ゆこうと努力しなければなりません。

今宵、一年振りに東西四連のステージが今、開演されようとしています。我々グリーメンはあの四大学エール交歓の時程、他の三大学に負けまいと意識する時はございません。なぜならば、ステージ上で他大学と肩を並べて歌う最初の機会だからです。我々にとってはこの東西四大学合唱演奏会は単なる男声合唱演奏会の大きなイベントととらえるだけでなく、その演奏から良きライバル意識と、また、歌を通じて友情が生まれ深まるものだと考えております。

さて、本日演奏致します「ギルガメシュ叙事詩・後篇」は昨年この四連のステージで演奏致しました続篇で、前回よりまして難曲です。青島先生も今回はかなり作曲に頭をかかえられたようで、先生から楽譜が届くのを楽しみにしておりました。そんな時、部員より「励ましのお便り」をお送りしたところ、スムーズに作曲が進まれ、後篇7曲が完成されました。（今回演奏するにあたり、青島先生とは深い絆で結ば

れたような気が致します。）これで「ギルガメシュ叙事詩」は前・後篇と合併されてひとつの大きなオラトリオをたちづくれます。

最後になりましたが、今後も、林雄一郎、畑中良輔、北村協一、大久保昭男諸先生方の御指導の下に、より一層の努力を重ねてゆく覚悟であります。どうか皆様方の御支援、御批判を賜りますようお願い申し上げます。

A SONG FOR KWANSEI

That we may both receive and give,
May live to learn, and learn to live,
Kwansei, we throng,
To you we throng, not first nor last,
Rejoicing in your fruitful past,
Through seasons clear or overcast,
Still true and strong.
Still true and strong.

顧問・今田 寛／技術顧問・林 雄一郎／常任指揮者・北村協一／ヴォイストレーナー・大久保昭男

TOP TENOR

若井 敬(経4)関学
三田 欣弘(社4)小倉西
近藤 裕介(経4)豊中
作田 剛(社4)金沢星陵
殿村愛一郎(法4)名古屋北
今井 博(文4)大教大天王寺
小岩井雅人(商4)佼成学園
山下 寛(理4)関学
門澤 秀樹(商4)関学
岡 明彦(法4)富岡西
長谷川景一(商4)関学
片山 悟(経4)岡山操山
吉田 昌宏(法4)県立西宮
庄山 浩司(法4)関西大倉
隅谷 義孝(文3)明石南
米村 義則(法3)金沢錦丘
榎本 大(理3)関学
瀬戸 裕之(法3)旭
本江 健司(商3)砺波
辻 正喜(法2)関学
安井 照幸(商2)旭
重松 浩(法2)天王寺
苅谷 誠(法2)滝
国佐 羊二(商2)関学
梅澤 浩明(文2)大手前
森永 和人(社2)新田
谷垣 正人(法2)八鹿

SECOND TENOR

橋本 尚樹(商4)関学
田中 康彦(文4)府中
飯田 幸生(社4)阿波
西田 淳一(商4)和泉
天向 好昭(商4)宝塚
平川 博司(経4)新宮
村田 浩之(法4)高鍋
竹見 孝弘(経4)神戸
田中 幸成(経4)神戸
香西 孝嘉(商4)県立西宮
西出 英男(商4)出雲
西谷 秀樹(文3)八鹿
平松 大輔(法3)関学
三戸 勝政(法3)山口県桜ヶ丘
野口 雅章(商3)大手前
藤岡 義章(商3)北陽
田中 福祉(法3)岡山芳泉
相馬 也卓(法3)住吉
高嶋 甲希(法3)関学
掛川 直樹(法2)柳井
平井 栄一(経2)真和
長手 郁夫(社2)関学
長田 浩一(経2)豊浦
須々木 清(商2)岡山朝日
杉本 憲一(経2)関学
門澤 直樹(商2)関学
川畑 隆一(商2)神戸
青山 祐一(経2)岡山芳泉

BARITONE

猿山 良一(経4)関学
太田 直宏(法4)桐蔭
名村 誠(経4)瀬戸
河村 徹(文4)城南
池永 明(法4)桐蔭
津田 耕一(社4)姫路東
江口 範行(商4)姫路
小杉 寿彦(社4)金沢西
堀井 一宏(文4)尾道北
椋田 哲男(社4)兵庫
小杉 穂高(社4)関学
辰井 哲(商4)市立西宮
谷口 芳正(経4)篠山鳳鳴
中村 正男(法4)木本
福明 正樹(社3)岡山大安寺
榎並 良樹(社3)河南
恵谷 篤嗣(商3)関学
飯田 栄一(経3)関学
八木 徹(法3)関学
戸田 義信(商3)鈴蘭台
青木 克爾(社3)上宮学園
神徳 和男(経3)尼崎西
伊藤 正博(法3)勝山
南 喜雄(経2)葺合
高田 二郎(社2)葺合
竹田日出紀(社2)高石
筒井 立明(社2)都立小山台
坂口 典之(経2)池田
佐藤 元昭(経2)鳴尾
安藤 一朗(文2)瀬戸
浦瀬 雅文(文2)洲本

BASS

宇佐美 健(経4)葺合
永谷 幹弥(法4)新宮
高橋 恵三(経4)土庄
中村 和正(法4)鳳
渡辺 弘之(法4)今宮
前田 昌男(経4)西宮南
南 昌明(商4)和泉
鈴木 秀俊(社4)池田
今田 雅文(経4)丸亀
石田 雅一(文4)関学
石崎 隆造(社4)県立芦屋
諫山 敏明(法3)那賀
松本 和巳(商3)広島舟入
鬼頭 悟(経3)明和
吉田 徹(経3)牧野
津田 良司(法3)関学
福島 広之(法3)関学
門脇 哲郎(商3)関学
福本 裕行(経3)関学
多 一郎(法3)武庫荘
岩田 潤(社2)乙訓
定方 克之(経2)横手
垣口 芳朗(経2)関学
倉田 秀夫(経2)関学
田井中 豊喜(経2)洛南
原田 昌宜(経2)洲本
岡田 宜之(社2)津西
米澤 大亮(法2)関学

「Zigeunerlieder」(ジプシーの歌)



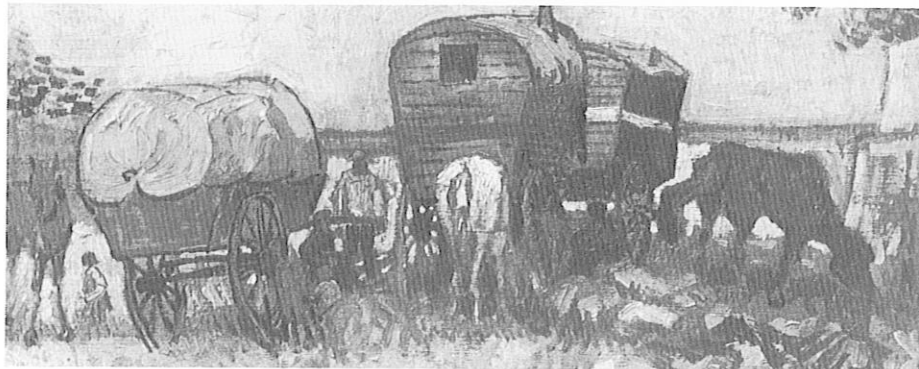
ヨハネス・ブラームスは1833年5月7日、北ドイツの港町ハンブルクに生まれた。彼は若い頃から色々な合唱団を指揮し、またルネッサンス、バロック期の合唱音楽にも深い知識を持って

いて、彼の作品群における声楽曲の地位は非常に高い。

この「ジプシーの歌」は1887年の作品である。ブラームスがハンガリー・ジプシーの音楽を好んでいた事は「ハンガリー舞曲」という作品の存在からもうかがえるが、この「ジプシーの歌」は、ハンガリー民謡の歌詩を、芸術に理解のあるウィーンの商人フーゴー・コンラートがドイツ語に訳したものに、ブラームスの独創的な見地から作曲されたものである。(元来、混声曲として作曲され11曲から成り)全曲が4分の2拍子で、ジプシーの感傷や情熱を示す点で一致し、動機・調的にも関係づけられてはいるが、それぞれ異なる

技巧を駆使して一つとして同じ色彩感覚を示していない。形式、旋律、リズム、そして和声は、単純で親しみやすく、全曲をブラームスの数多い声楽曲のなかで、最もひろく愛好され得るものとするのに役だっている。またこれらの曲は、ハンガリー・ジプシー的な性格を強くあらわしているが、そこには、一般的なブラームスの性格、すなわち精神的、音楽的な根本的性格があるのも見逃せない。

尚、ワグネルは12年前にこの「ジプシーの歌」の名演を畑中良輔先生の指揮で残しています。今回もジプシーの躍動や悲哀を、音楽を通して皆様にお伝えする事が出来たら幸いです。



5. 踊り

日焼けした浅黒き若者、舞踏の相手に
碧き瞳の美しきひとをいぎないで、
威勢よく拍車をかち合わせるや、
チャールダッシュの調べ始まる。
愛らしき小唄にちづけし、そを抱きしめ、
ぐるぐる回しリードして、
歓声あげて跳びはねる。
シンバルめかけ四つ銀貨を三枚も
投げると響きがさえわたる。

8. 別れ

聞け！風は悲しくもやさしく枝を鳴らす
恋人よ我が別れの時は来りぬ、さらばよ
ああおまえの腕に想うは
いかに心地よきかな
されど別れの時は近づけり
神がおまえを守りたまわんことを
夜は暗く星は光を投げす
恋人よ神をたのみ泣くなかれ
愛する神がいつしか再び我を
おまえのもとへつれ戻したまわん
時来りなば
おまえと愛の幸福に結ばれ永久に離れじ

11. 夕雲

赤い夕焼雲が天空を覆ってゆく、
きみへの憧れはとほしり、
恋人よ、我が心は燃えあがる。
天は華麗に灼熱して光放ち、
私は夜といわず日ごと夢みる、
それはただひたすら
我が愛らしき人の夢。

1. ヘイ！ジプシー！

よう、ジプシー、かき鳴らしてくれ
その弦を！
不実なあゝの女の唄を奏でてくれ！
弦が泣き、歎き、
悲しく不安におののくほどに、
熱き涙がこの頬をぬらすまで激しく！

第32回東西四連に寄せて

木下保先生のあとを受けて、はじめて四連のワグネルを振ります。四連はずっと以前、合同で、ペートーヴェンの《フィデリオ》の“囚人の合唱”と、ヴァーグナーの《さまよえるオランダ人》の二重合唱を振っただけです。六連に住みついてしまったような感じでしたが、ここに新しい緊張と意欲をもって、四連に

畑中良輔

デビューしたいと思っています。今年がヴァーグナーとブラームスの記念の年であります。生誕と没後の差はありますが、同時代、およそこの二人の作曲家ほど対極にいた芸術家はいないでしょう。ヴァーグナーの遠心性に対するブラームスの求心性は、前者の巨大性に背を向け、沈潜の道を歩んでいます。しかし、こ

の沈潜の中でブラームス的情熱の迸りは、やはりロマン派の時代の影を逃れる事は出来ません。ブラームスが今、現代の心を捉えて離さないのは、この屈折した重層的心理の動きにあるものといえましょう。ワグネルの中にブラームスが生きるように最大の努力をしたと思っています。



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団専任指揮者・畑中良輔

昭和18年、東京音楽学校を卒業される。沢崎定之、ウーファーペーニッヒ両氏に師事された。オペラ歌手として「フィガロの結婚」のフィガロ役、「魔笛」のパパゲーノ役などで活躍され、そのモーツァルト解釈には定評がある。現在、東京芸術大学で教鞭をとられる一方、二期会、評論活動など幅広く活躍されている。また、かつて日本に定着しなかった室内歌劇上演の運動に力を入れて、《東京室内歌劇場》の設立運営にあたられ、新しいオペラ分野の開拓に努力

されている。先生がワグネルの専任指揮者に就任されてから20余年になるが、この間発声を重視され、いわゆる“ワグネル・トーン”を生み出された。日頃、「美しいものは何の努力もなしには得られない」「合唱を通じて、世界の音楽への眼を開け」とおっしゃる先生は、世界中の歌曲・オペラ・ミュージカルの編曲物を積極的に取り上げられ、今ではそれらの合唱団が各合唱団のレパートリーとして定着していることは、特筆に値する。



ピアニスト・三浦洋一

昭和30年東京芸術大学ピアノ科卒業。ピアノを遠山つや、ハンス・カン両氏に師事された。歌曲及び合唱の伴奏者として、日本の第一人者とされており、演奏会に、レコードにと、その活躍はきわめて多彩である。そのピアノ伴奏は共演する声楽家の特質を深く把握し、微妙なニュアンスに富み、するどい感性のひらめきをうかがわせるみごとなものとして、高い評価をうけている。レパートリ

ーも古典から現代曲までと大変広く、そのいずれに対しても充実した力量とみずみずしい情感とをうかがわせる、日本の代表的伴奏ピアニストである。日本の声楽家のみならず、バスターニーニ(伊)、ロツツレメーニ(伊)、タリアビーニ(伊)、ジュリアスベイガー(米)、その他の外来演奏家の来日公演のピアノ伴奏を行っており、楽界から高い賞賛を得ている。



ソリスト・瀬山詠子

東京芸術大学卒業。畑中良輔、畑中更子の両氏に師事される。1956年「フィガロの結婚」のケルビーノ役でデビューされる。非常な勉強家で、1959年に第1回リサイタルを開いて以来、昨年まで12回のリサイタルを開き、その都度日本初演の曲、メシアン曲〈ハラウイ〉、石術真礼生曲〈鎮魂曲〉、ヒンデミット曲〈マリアの生涯〉等を発表される。その目覚ましい活躍に対し、'67年には中西賞が、

また昭和50年度文化庁芸術祭賞が贈られた。オペラでは、清水脩作曲「炭焼姫」の炭焼姫、ヒンデミット作曲「ロング・クリスマス・ディナー」のルシア、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」の伯爵夫人、オルフ作曲「賢い女」の賢い女、ブリテン作曲「ねじの回転」「アルバート・ヘリング」等で成果をあげている。現在東京芸術大学助教授。二期会会員。

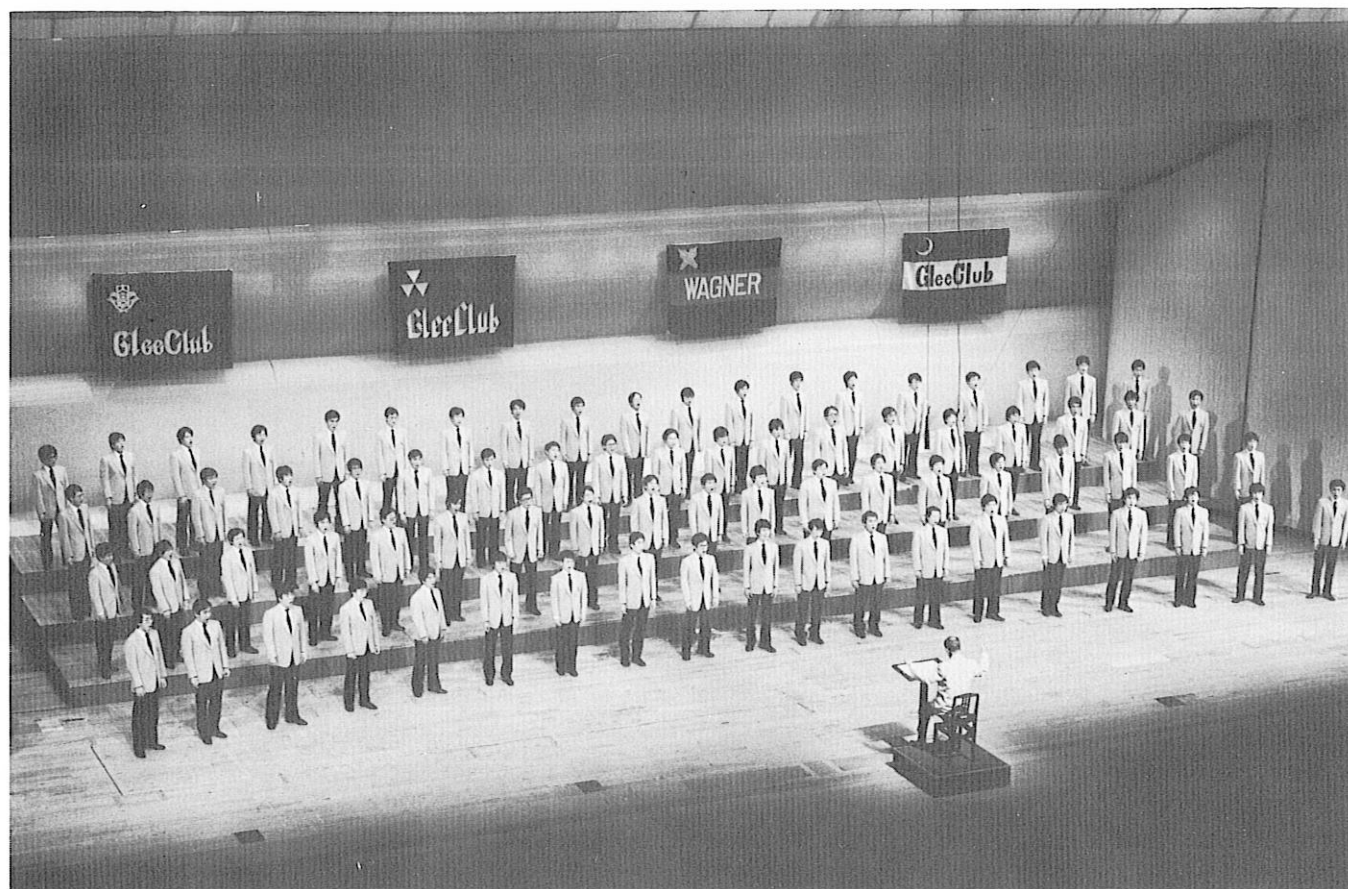


ソリスト・永田峰雄

昭和55年東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同58年同校大学院修士課程終了。畑中良輔、畑中更子の両氏に師事される。在学中、芸大メサイアでソリストをつとめられる。オペラでのデビューは東京室内歌劇場公演のバイジェロ作曲「セビリアの理髪師」で、その後「金壺親父恋逢引」「幸福な王子」「黄金の国」等に出演される。オペラ以外にも宗教曲や

歌曲の演奏会に多数出演、また、坂東玉三郎リサイタルに参加するなど、多彩な活動を行なわれている。

永田先生に、私共のステージのソロをお願いするのは5年ぶりですが、毎年夏合宿では「コンニャク体操」と「いい香り」による独特の方法で、発声練習の指導をして下さっています。



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

慶應義塾の代表的なカレッジ・ソング「丘の上」の中に、「窓を開けば海が見える」という一節があります。今では想像も出来ないことですが、慶應義塾のある港区三田の山の上から、その昔は東京湾を望むことができたのです。

ワグネル・ソサィエティーが誕生したのもそんな古い時代、今から82年前の1901年のことでした。当時、慶應義塾には「実学」を重んずるあまり、とすれば文芸を軽視する風潮がありました。そんな中で、ワグネル・ソサィエティーの誕生は、まさにエポック・メイキングな出来事でした。そしてその後、多くの諸先生、先輩方の熱意と努力に支えられ、ワグネルは今日の隆盛をみるに至りました。

現在、ワグネルはオーケストラ・女声合唱団・男声合唱団の3団体に分かれ、それぞれ別個に活動しております。

我々男声合唱団は、東京六大学合唱連盟定期演奏会・東西四大学合唱演奏会、そして定期演奏会の三つの大きな演奏会を中心に、幅広いスケジュールを組んでおります。

中でも、関西から二つの大学をお迎えし、また“盟友”早稲田大学グリークラブと共に歌うことのできる東西四大学合唱演奏会は、ワグネリアンにとり大変楽しみであると同時に、大いに緊張を感じる演奏会です。

去年は、ワグネル・ソサィエティーの長い伝統の中でも大きな転機となる年でした。半世紀の長きにわたり御指導をいただき、ワグネリアンとしての精神的支柱でもあった木下保先生が、不帰の客となってしまわれたのです。しかし、いつまでも悲しみに浸っているわけには参りません。万一、悲しみのあまり「音楽」をおろそかにするようなことがあっては、それこそ木下先生に申し訳ありません。その意味で、今年は正念場です。

幸いにも、ワグネル・ソサィエティーは、畑中良輔、三浦洋一、大久保昭男先生をはじめ、諸先生方の情熱のこもった御指導をうけられる恵まれた環境にあります。私共はこの事を光栄と感じ、木下先生の死という悲しみを乗り越え、より高い音楽をめざし前進する所存です。

今宵演奏致します、ブラームス作曲「ジプシーの歌」は十余年前、第96回定期演奏会において、畑中良輔先生の指揮で演奏したことがございます。その演奏はワグネリアンの間で“名演”として語り継がれております。果してその演奏を越えることができますかどうか……。いや、絶対に越えねばなりません。ワグネリアンには「常にクレッシェンドあるのみ」です。

最後になりましたが、今後とも皆様のご多大なる御批判、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、今後とも皆様のご多大なる御批判、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

顧問・村田武雄・千種義人・神谷傳造・山田太門／部長・福岡正夫／専任指揮者・畑中良輔／ヴォイストレーナー・大久保昭男

TOP TENOR

伊藤 康弘(政4)明治学院東村山
亀井 淳一(政4)慶應
香西 茂樹(商4)高松
高橋 和宏(商4)鎌倉
山崎 修(商4)川越
板垣 武志(商3)函館ラ・サール
角本 雅宣(経3)姫路西
桑田 浩(政3)県立西宮
斎藤 寛行(政3)佼成学園
榊原 浩康(経3)東葛飾
新川 新一(法3)函館ラ・サール
堤 敦史(経3)伊勢
渡辺 英一(法3)安積
赤沼 和也(経2)立川
上田 雅彦(経2)海城
大友 俊明(理2)前橋
香川 孝之(商2)修道
三好 英彦(文2)高松
渡辺 孝(経2)松山
渡辺 直樹(法2)函館ラ・サール

SECOND TENOR

今井 達也(経4)慶應
翁長 良二(法4)暁星
加納 利浩(法4)松江北
清水 智裕(政4)四日市
助野 直彦(商4)神戸
松口 裕重(経4)慶應
間宮 章生(経4)青森
吉田 豊(政4)津
古満 繁(政3)松江北
清水 貞敏(商3)東山
城下 英之(商3)豊浦
鈴木 達朗(経3)岡崎
辻本 宏之(商3)甲陽学院
中田 一夫(商3)駒場東邦
藤本 淳(文3)名張桔梗丘
山香 朗(経3)青山学院
青山 秀美(商2)北野
清水 賢一(政2)甲府第一
武 昌利(理2)鎌倉
手嶋 公之(政2)光陵
西原 史浩(経2)桐朋

BARITONE

沖津 和宏(政4)光陵
澤口 雅昭(商4)盛岡第一
渡辺 寿郎(工4)桜丘
北島 洋樹(文3)柏陽
日下部 寛(商3)姫路西
小林 俊宏(経3)桐蔭学園
佐藤 雅通(商3)希望ヶ丘
東 克己(理3)岡山操山
平尾 啓(理3)北野
星 博美(法3)磐城
松下 裕一(理3)岐阜
加藤 明(理2)南
津田 雅(商2)学習院
飛川 敏哉(文2)芝
中野 伸朗(法2)慶應
沼岡 千里(理2)新城
松本 恭幸(経2)浦和
三木 淳(理2)長田
宮本 俊孝(商2)戸山

BASS

神村 淳一(法4)会津
堤 浩一(商4)佐賀西
畑中 格(法4)高槻
池口 司(法3)大門
神長 俊也(経3)慶應
菊池 泰(理3)湘南
島田 哲(経3)川越
下郡 実(経3)大教大平野
館山 友宏(経3)函館中部
古田 泰資(経3)浦和
保坂 文一(商3)慶應
池見 克郎(経2)大分上野丘
猪股 克彦(商2)仙台第一
大隅 仁(法2)開成
蘭田 浩徳(文2)鹿児島ラ・サール
玉井 哲郎(理2)松本深志
西川 昌宏(法2)彦根東



ヴォイス・トレーナー・大久保昭男

昭和28年、東京芸術大学声楽科を卒業される。矢田部勤吉氏に師事された。デビューは近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役で、以後、山田耕筰指揮のオペラ「黒船」、ドヴォルジャークのオペラ「ルサルカ」などに出演された。また、昭和34年には、ドイツ・リート、日本歌曲

第32回東西四連に寄せて 大久保昭男

第32回東西四大学合唱演奏会を迎えられるにあたりまして、心よりお祝い申し上げます。

毎年、東京と大阪と場所を変えての演奏会は、若さ溢れる情熱のこもった演奏で、私はいつも客席で聴かせてもらっています。私は慶應ワグネル、同志社グリー、そして関学グリーと3つ

の大学の声を受け持っていますが、不思議なことにそれぞれ異った良さがあります。このような各団体の特徴は、それぞれの長い伝統の上で育っているからこそ出るものだと思います。それはまるで、土壌の性質によって様々な色で咲くアジサイの花のようです。

多くの先輩から受け継がれた貴い音

ヴォイス・トレーナー・山本健二

昭和31年早稲田大学法学部卒業。在学中、グリークラブの学生指揮者として活躍。第35回NHK毎日音楽コンクール声楽部門入選。第三回波の会日本歌曲コンクール第一位、及び荻野綾子賞受賞。ニコラ・ルッチ、ロドルフォ・ルッチ、中山悌一、磯部俣、岡村喬生の各氏に師事。現在、稲門グリークラブ、共立女子大学合唱団、フレーベル



山本健二

シュタイナー学園の創始者である心霊学者のルドルフ・シュタイナーによれば、音楽は人間のもつ霊的な根源に限りなく近づくものであるが故に、どんな素朴な魂の中にも限りなく深く働きかけるのだという。とすると素材の音色づくりを受けもつ者は、より深い

感性と感覚を要求されるということになろう。

たしかに発声は、理屈で理解できることはごく一部である。28年前のシンフォニー・オブ・ジ・エアを聞いたとき鮮やかな色彩が火花のように目の前でとび交い、23年前の岡村喬生先輩

による第一回リサイタルを開かれた。現在、東京芸術大学講師として教鞭をとられる一方、慶應ワグネル・関西学院グリー・同志社グリーをはじめとして、東西の多数のトップクラスの合唱団のヴォイス・トレーナーとして、幅広く活躍されている。

色を美しく響かせようとする若者たちに、私は力の限り協力することの欲びを大きく感じます。そして、この素晴らしい四連が堂々と回を重ね、合唱芸術の向上に大きく寄与することを心から願ってやみません。

少年合唱団、むさしの合唱団指揮者。先日故郷の福岡で日本歌曲のリサイタルを開かれた。福岡高校の同窓生や早大校友会の協力のもと、会場は満員の聴衆で埋まり、プログラムには広告が25件も載った。リサイタルの後仲間と一次会、二次会と渡り、最後は皆にまじってカラオケで「北国の春」を披露。「一番うまかった」とは御本人の弁。

国リサイタルではラルゴのひびきが、文化会館の聴衆を魅了したのだった。

音そのものがこれほどまでに人の心を支配し感動させることへの驚きがその後益々増殖され今では男声、女声、少年の分野で四苦八苦している。

聖心女子大学グリークラブ第22回定期演奏会

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. Zigeunermelodien | 作曲・A. Dvořák |
| 2. ことばあそびうた | 作詩・谷川俊太郎／作曲・新実徳英 |
| 3. The Sound of Music より | 作詩・O. Hammerstein／作曲・R. Rodgers／編曲・須田和宏 |
| 4. 心の四季 | 作詩・吉野 弘／作曲・高田三郎 |

と き 1983年7月2日(土) 5:30開場, 6:00開演 指揮・前田幸市郎、坂上昌子／中田悦子
ところ 五反田・簡易保険ホール 全席自由500円

お問い合わせ 井上(443)5976

日本女子大学合唱団第28回定期演奏会

昭和58年10月14日(金) 6:00開場 6:30開演
東京厚生年金会館大ホール

- 曲目 1. トスティ歌曲集(義永欣昇・編曲)
2. Liebes Lieder (Brahms・作曲)
3. 六つの子守歌(池辺晋一郎・作曲)
4. 心の四季(高田三郎・作曲)

指揮・黒岩英臣・相楽由夏
ピアニスト・大木有子・山田裕子・三村奈津子・中井川裕子

お問い合わせ 林弘美(03)987-1616 富田加津子(045)962-4053

第31回早稲田大学グリークラブ定期演奏会

お問い合わせ 早稲田大学グリークラブ事務所 ☎03(110)10903	東京厚生年金会館 大ホール	十二月三日(土) 夕	指揮 福永陽一 田中一嘉 笹原優樹	・? ・岬の墓 堀田善衛作詩 團伊玖磨作曲	・VESPERGESANG OPUS 121 F. Mendelssohn	・ヴァイオリン弾き 福永陽一郎編曲	・屋根の上の
---	------------------	---------------	----------------------------	--------------------------------	---	----------------------	--------

第108回定期演奏会

慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

- ♪ ドビュッシー歌曲集より
♪ Zigeunerlieder
♪ 中 勘助の詩から
♪ 歌劇 タンホイザーより
♪ ? ? ?
—— 畑中良輔・三林輝夫・澤口雅昭

1983.12.10(SAT.)芝・郵便貯金ホール
12.11(SUN.)新宿・厚生年金会館大ホール

☎0423(73)4694山崎・0473(36)2672松口

木下保先生追悼演奏会

聖心女子大学グリークラブ “信仰・希望・愛”(ロッシーニ)
慶應義塾ワグネル・ソサィエティーOB合唱団 “シベリウス男声合唱曲集”
日本女子大学合唱団 “心の四季”より
慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団 “レクイエム二短調”より(ケルビーニ)
桜楓合唱団 “沙羅”より
合同演奏 “ハレルヤ”他

1983年11月13日(日)開場 1:30P.M.／開演 2:00P.M.
五反田・簡易保険ホール 全席自由1000円

お問い合わせ ☎0473-36 2672松口裕重

男声合唱とピアノのための「ゆうやけの歌」

昨年10月27日の水曜日夜、東西四校の学生指揮者が一室に会し、本日演奏される合同曲の曲決めを行っていた。四人が揃うのは初めてのためか、しばらく違う話をしていたが、いざ問題の核心に触れると、あっさり「ゆうやけの歌」に決まってしまった。それぞれの考えの中で、皆がこの曲を候補として共有していたということは、不思議な事である。

川崎洋氏のダイナミックな詩にもとづいて作曲されたこの曲は、広島崇徳高校グリークラブにより委嘱された。また第29回全日本合唱コンクールで崇徳高校はこの曲で金賞を受け、一躍男声合唱の主要なレパートリーとなったのである。底ぬけに明るい雰囲気を持つ原詩(作曲者の湯山昭氏はこれを「青春讃歌」と呼んでいる)に親しみ深いメロディがつけられ、この曲は聴く人

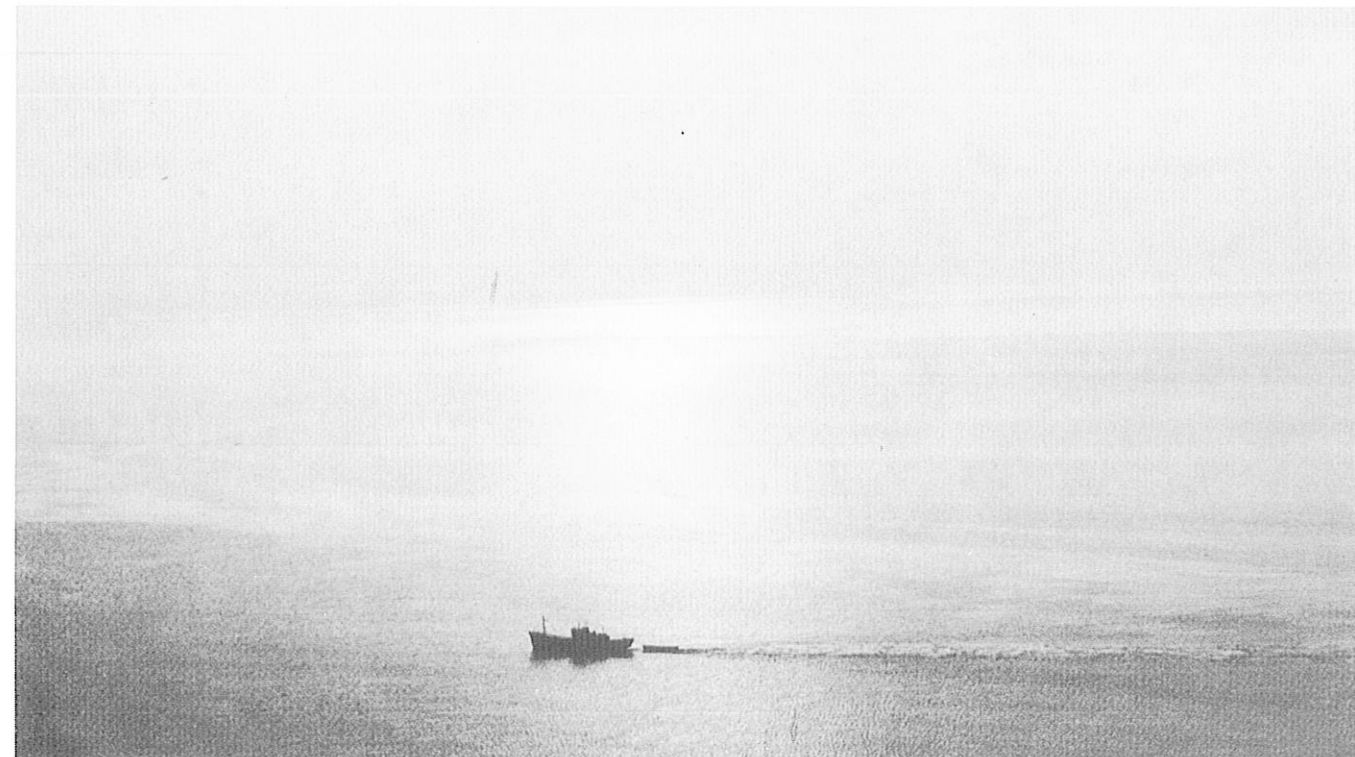
を幼い時の楽しかった思い出へと誘うであろう。

本日指揮をお願いする関屋晋先生は、湯山氏の曲を何度も手がけられた指揮者で、ピアノの大久保洋子先生も湯山氏の作品に精通しておられる。本日は、男300余人の圧倒的迫力で「青春讃歌」を高らかに歌い上げようと、メンバー一同皆、息込んでおります。

ゆうやけこやけ じゅびたあ 焚け
焚け おんがくを 魚のように
はだかの雲は青いろ
焚け 森を 海のように しらじら
じぶしい とちめんぼお
盗んだ娘こわきにかかえて とちめんぼお
向うで鉦賑きらり 敵ばかり
あかはら達は一せいに沼の岸に並んで讃嘆
北から山びこ 東からわっしょい
おーとばい ななめにきれいに火をふいて
それえ わっしょい じゃかじゃん
やけぶどう こげへび 焼けとかげ
くろんぼの娘のなには なんとやら
とり澄ましてみずうみに落ちてるバカな空
森の中の赤い屋根 洋館の窓 ショパン
さても
レエスは揺れる みつぐみのおとめえ
さあどうするどうする
このゆうやけはオランダにもあるか

いちご いちご おお
いちごが喰いたいよ じゅびたあ
突如其れ出す初恋のこと じゃかじゃん
じゅびたあ突如其れ出すよじゃかじゃん
焚け 森を 海のように しらじら
とろんぼーん は やさしく焚いて
ほるん も そえて やさしく焚いて
すぐりの茎でひっかいた
あなたのふともも なでさせて
まっしろのつやつやの皮ふには獣目がない
ゆうやけこやけ うしろの正面だれ
コルシカ生まれのさっくす吹きは なぜ
ゆうやけみながら狂ったか じゅびたあ
とおくを見よう
ずうっとずうっと とおくを見よう
ほら あんなにとおくがはっきり見える
なほれおん は 死ぬまぎわ
じやほね の 若い詩人に逢いたいよ
しるぶふれ

といったとかいわぬとか じゃかじゃん
よいよいまあよいではないか
なんぞとぶう くそったれの としよりは
早く死ぬ 嫌いだ
じゅびたあ お前へ 鳥がとんでいく
とんでいく 人さらいもお化けも囃も
みんな お前へ はないちもんめ
じゅびたあ お前のぶいつけ なんでも
きこう なんでも
ゆうやけに鎌を研げ
明朝は晴天 死ぬような あお
ろしやじん は いった
疲れたら休め と
しんりだ
疲れたら休め
ただれた空は巨きくお前にかがみこむ
ゆうやけ つるとかめが つうべった
じゅびたあ じゅびたあ あかんべえ



指揮者・関屋 晋



早稲田大学政治経済学部卒業。1978年秋、小沢征爾指揮、新日本フィルのカテドラルシリーズ「スタバト・マーテル」(ドヴォルザーク)において、コーラスマスターをつとめ小沢氏に認められ、以後、同シリーズ及び、新日本フィルの定期演奏会で、その地位を確立。

また一方で、NHK交響楽団の演奏会にも1981年のホルスト・シュタイン指揮「テ・デウム」(ブルックナー)を皮切りに、ライトナー、サバ

リッシュ各氏の指揮のもと、晋友会(関屋晋傘下の合唱団)を率いて好演し、各巨匠より絶賛を浴びている。

現在、松原混声合唱団、湘南市民コール、早稲田大学コール・フリーゲルなど、高校・大学合唱団から社会人、ママさんコーラスに至るまで10余団体の常任指揮者として幅広く活躍。各合唱団の性格を的確にとらえ、その個性を生かした音楽づくりには定評がある。

「東西四連」があるから…関屋 晋

最近何が面白くないというて、誰もが絶対嫌いというのを聞かなくなったことだ。古いことをいうようだが、相撲でいえば双葉山の記録を大鵬が破ったとか、破りそうだとか、将棋の大山名人が木村名人の何十連勝とかを更新したというのを聞かない。

ポピュラー音楽の世界でも、マッチイとかトシちゃん達は美空ひばりさんを超えたのだろうか。

みんなうまくなったといえばそれまでだが、平均化してしまったといえないだろうか。日本中の人達の話題になり、その人と一緒にいること

で幸せになれた人がいた。クラシックにもそういう人がいたのだ。

ONがいたから金田さんが頑張る、村山さんが頑張った。そして好勝負が生まれ、神話が創られていくわけだ。一この辺り野球に興味のない人には全くわからないだろうがー

今何故「おしんの時代」なのか、一これもしらない人には面白くない一そういうチャンスや場をみんなが求めて何かモヤモヤした気持ちになっているからじゃないだろうか。

「東西四連」があるから、それを超えようとみんなが努力する。そんな存在であり続けて欲しい。

ピアニスト・大久保洋子



国立音楽大学ピアノ科卒業。在学中は、飯田和子氏に師事。1974年、クラウン少女合唱団委嘱作品の、湯山昭作曲「ドミソの歌」を初演。また、1976年には第3回徳島少女合唱団東京公演では、湯山昭作曲「阿波

物語」を東京初演し、その音楽性を高く評価された。1978年、静岡児童合唱団ヨーロッパ公演の際には、ピアニストとして同行し、各地で絶賛を博した。

どこかの星で 作詩者・川崎 洋

先日、オリオン星雲やおうし座の暗黒星雲のなかに、新しい太陽系が生まれつつある姿が見つかったというニュースがあった。すると、すでに出来上がった太陽系が、ほかにもあって、その中には地球と同じような星があるに違いないと、あらためてそうした可能性をめぐる宇宙への夢がかき立てられる。

その地球に似た星には、ヒトそっくりの知的生物がいるとすると、そこにはまず言葉があり、言葉があれば詩があるだろうと思う。その詩には、どんなポエジーがゆらめいているか。その星の歌は、どんな喜びあるいは悲しみに満たされているか。どんな形の、音色の楽器があるのだろう。その星にどんな兵器があるか

より、わたしはそれらのことが知りたい。

東西四大学合唱演奏会が開かれる今日、宇宙のどこかの星で、同じような催しが行なわれているような気がしてならない。その星にどうか戦争の凶兆などありませんように。

カルビーポテトチップス

自然—健康。

ビタミンC、E、ミネラル、食物せんいが豊富。




カルビー株式会社

レナウン

人は、美しいマシーンだ。

UCLA

RENOWN LIVE SPORTSWEAR

あのUCLAが生まれ変わった。本格的なDO SPORTS WEARになった。
トラック&フィールドを中心に、マリンスポーツ、ロードサイクルを包含する新しいSUPER SPORTSの世界。
ここには、1000秒を競うための機能性がある。ライブな鼓動にJUST MEETするファッションがある。
UCLA——スポーツだけが描きうる瞬間美が、いま地球を走り出した。

ライブスポーツウェア UCLA レナウンから新発売。

レナウン・スポーツビデオコンテスト開催
レナウンのスポーツウェア「UCLA」、「ベイビル・クラシック」、「ウィンブルドン」のどれか1つをテーマに、イマジネーションあふれるユニークなビデオ作品を送って下さい。フィクション、ノンフィクションは問いません。作品の長さも自由です。優秀作品には賞品を進呈。応募作品は、全国のレナウン・スポーツ売場で上映します。詳しくは、レナウン宣伝部内スポーツビデオコンテスト係 伊藤 03(470)2291まで。

ダーク・ダックス



いつも我々の心の奥に流れるあの歌、この歌……

わが歌
おもしろい
情
歌

ダーク・ダックス
最新アルバム

収録曲目
荒城の月
赤い想
ふるさと
津波の歌
叱られて
七つの子
赤い花
さくらが咲いた
ちいさい秋みつけた
遠くへ行きたい
銀色の道
白ランコ
全24曲入り

青葉城恋唄
岩尾別荘情
宵待草
この道
城ヶ島の雨
波浮の港
うたかたの恋
草 笛
島の石たみ
望郷の歌
はつこい
歌声が聞こえる

絶賛発売中

ダーク・ダックス 最新シングル
歌声が聞こえる/はつこい
6月25日発売 ●7DX 1247 ●Y700

Polydor ポリドールレコード
発売元 ポリドール株式会社

パーティご宴会は古き良き時代から ライオン銀座七丁目店……



こんな時に2Fビアレストラン・6F大宴会場

小グループでのご会合、歓迎宴会、記念行事の祝賀会、クラス会、同窓会等の各種パーティは、ご人数に応じて2Fビアレストラン、個室、又は6F大宴会場をご利用下さい。

パーティ形式はお好きなスタイルで

（ビヤパーティ・カクテルパーティ）

親しい仲間同士楽しくくつろぎながら、生ビールで乾杯。気分もグッとくだけて……

（立食パーティ）

お気軽なビュッフェスタイルはいかがですか。ちょっとしたレセプションなどには、お客様にも気安く交歓していただけます。

（ディナーパーティ）

結婚ご披露などフォーマルパーティは、テーブルに色どりをそえるお料理が主役です。

豊かな経験でパーティを演出します

《ご連絡先》☎(03)571-2590(代)

銀座7丁目角 **ライオン銀座7丁目店**

〒104 東京都中央区銀座7-9-20 銀座7丁目角 ☎(03)571-2590(代)

各団の今年度の演奏旅行日程

同志社グリークラブ

7月21日 アインジーデルン
26日 プタペスト
28日 ウィーン
29日 ザルツブルク
8月2日 ルツェルン

早稲田大学グリークラブ

7月30日 大津
8月1日 尾道
4日 広島
8日 岩国

関西学院グリークラブ

7月12日 横浜
14日 米沢
16日 仙台
19日 小樽
20日 札幌

慶應義塾ワグネル・ソサエティー男声合唱団

8月4日 仙台
5日 盛岡
8日 札幌
10日 青森



編集後記

ホールとりから考えると丸々一年半の長丁場だった。茶店や公園で来る日も来る日も男だけのマネ会。周りの人から変な目で見られることもあったけど、結構楽しかったぜ。走り回ることの多かった俺達だけど、今夜はなんだか一人で飲みたい気分だよ。似合わないか。(……似合わない……)

最後になりましたが、原稿をお寄せ下さった先生方、イラストを快く引き受けて下さった渡江さん、遅れがちな原稿集めを強く励まして下さったアート・ザウルスの井上さん、広告を下さった方々、本当に有難うございました。



石亀(早)

藪下(早)
松口(慶)
今井(関)
岡田(同)

辻本(慶)

第32回

東西四大学合唱演奏会

昭和58年6月25日発行

発行・東西四大学合唱連盟

編集・松口裕重

石亀昌郎

表紙・渡江喜久夫

制作・アート・ザウルス

写植・有限会社マウント企画

印刷・株式会社平河工業社

素晴らしい音とハーモニーの
東芝合唱シリーズ

現代合唱曲シリーズ

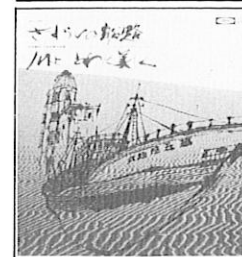
各¥2,300

混声合唱組曲「白い木馬」/「深き淵より」



(萩原英彦作品集) ●TA-72082
混声合唱組曲「白い木馬」：一陣の強い風がふどうの枯葉を吹き飛ばし/ゆきんこが遠い国から/折れたバラ/小さな詩(うた)/名も知らぬ異国の港町にて
混声合唱組曲「深き淵より」：想い出になりきれない思い出/雪の音/夜ふけの珈琲(コーヒー)のかおり/いえずへのこうき/うたをうたってあげたい
●指揮/福永陽一郎 ●合唱団京都エコー ●副指揮/浅井敬堂 ●ピアノ/久遠之宜

男声合唱のための組曲「さすらいの船路」/男声合唱組曲「川よとわに美しく」



(平吉毅洲・三枝成章作品集) ●TA-72083
男声合唱のための組曲「さすらいの船路」：竜骨よやすらかに/さんざめく生命(いのち)/よみがえりの時はいつ
男声合唱組曲「川よとわに美しく」：釈尊童子/永遠の川/荒廃に立ちて/静寂の川/川よとわに美しく
●指揮/北村協一 ●関西学院グリークラブ、立教大学グリークラブ ●ピアノ/久遠之宜 ●シンセサイザー/向谷 実

合唱による風土記～「阿波」/合唱のためのコンポジション第三番



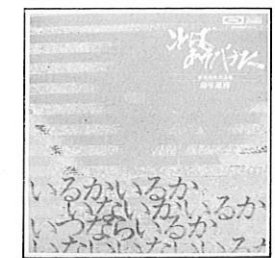
(三木 稔・間宮芳生作品集) ●TA-72086
合唱による風土記～「阿波」：たいしめ(綱絛)/麦打ち/もちつき(餅搗)/水取り/たたら(踏鞴)
合唱のためのコンポジション第三番：鐘/羯鼓(かっこ)/引き念佛
●指揮/北村協一 ●関西学院グリークラブ、早稲田大学グリークラブ

男声合唱組曲「中原中也の詩から」



(多田武彦作品集) ●TA-72091
男声合唱組曲「中原中也の詩から」：北の海/汚れちまった悲しみに/聞奏曲/雲雀/六月の雨/月の光
男声合唱組曲「在りし日の歌」：米子/早春の風/閑寂/骨/また来ん春
男声合唱組曲「冬の日の記憶」：冬の明け方/冬の日の記憶/冬の長門峡/更くる夜/南無タダ
●指揮/北村協一、福永陽一郎 ●立教大学グリークラブ、関西学院グリークラブ、同志社グリークラブ

「ことばあそびうた」/「幼年連橋」



(新実徳英作品集) ●TA-72092
女声合唱組曲「ことばあそびうた」：やんま/だって/いるか/かぞえうた
男声合唱とピアノのための「ことばあそびうたII」：かっぱ/うたとこ/たそかれ/さる
混声合唱組曲「幼年連橋」：花/不眠/憧れ/熱/喪失
●指揮/福永陽一郎、北村協一 ●大槻小学校合唱団、同志社グリークラブ、法政大学アカデミー合唱団 ●ピアノ/久遠之宜

「六つの子守歌」/「冬にむかって」



(池辺晋一郎作品集) ●TA-72093
女声合唱組曲「六つの子守歌」：風の子守歌/空と海の子守歌/いつもの子守歌/思い出の子守歌/おきかなの子守歌/眠っちゃいけない子守歌
混声合唱組曲「冬にむかって」：落ち葉の道/枯れ葉/樹氷/木枯しの夜/新しい年への願い
●指揮/福永陽一郎 ●湘南コーラル・グループ、藤沢男声合唱団、小田原男声合唱団 ●ピアノ/久遠之宜

東北地方のわらべうた・民謡による合唱曲



(小倉 朗作品集) ●TA-72100
東北地方のわらべうたによる九つの無伴奏女声合唱曲：からす/子守唄/雪こんこん/てでほこ/ほたるこい/猿こが三万/郵便配達/おわいやれ/へごこ三匹
東北地方のわらべうたによる五つの無伴奏女声合唱曲：お正月ええもんだ/地蔵さん/ねにやもにや/こんこんさま/一匁の市助さん 東北地方の民謡による七つの男声合唱団：そんでこや/おどのもり/耳が三寸/あんづきまんま/雀と雀/ホーハイ節/遊び唄
●指揮/福永陽一郎 ●花巻女声合唱団、盛岡メロディ混声合唱団

アイヌのウポポ/日本民謡による男声合唱曲



(清水 脩作品集) ●TA-72101
アイヌのウポポ：くじら祭り/イヨマンテ(熊祭り)/ピリカ ピリカ/日食月食に祈るうた/恋歌/輪舞
日本民謡による男声合唱曲：八木節/大漁祝い/最上川舟唄/黒田節/そうらん節/牛追い唄/五つ木の子守唄
●指揮/北村協一 ●立教大学グリークラブ、慶應義塾ワグネル・ソサエティー男声合唱団、関西学院グリークラブ

グリークラブ・アルバム

- I ●TA-60050 ¥2,000
からたちの花/中国地方の子守唄/この道/帰る路/あわて床屋/青蛙/砂山/婆やのお家/遙かな友に/水夫のセレナード/いざ起て戦人よ/他全22曲
- II ●TA-60051 ¥2,000
キリエ・エレイソン/主は我が牧者なり/主の祈り/菩提樹/野ばら(ウェルナー)/小夜曲/ローレライ/別れ/自由の歌/狩人の別れ/他全24曲
- III ●TA-60088 ¥2,000
最上川舟唄/大島節/ソーラン節/大阪子守唄/五つ木の子守唄/おてもやん/かぞえ唄/ちんちんちどり/出船/夕やけ小やけ/七つの子/海/他全17曲

- IV ●TA-60089 ¥2,000
年の別れ/春を待つ/雨/アカシアの径/見上げてごらん夜の星を/涙くんさよなら/君といつまでも/コサックの子守唄/希望の島/森の歌声/他全18曲
- V ●TA-72074 ¥2,300
フィンランド/やまびこ/いとしのマドンナ/アヴェ・マリア/冬のセレナード/もみの木/鐘のキャロル/ロンドンデリーの歌/他全15曲
- VI ●TA-72075 ¥2,300
Swing Low Sweet Chariot/Rolling Home/斎太郎節/島原の子守唄/音の舟唄/風/秋の日ぐれ/上を向いて歩こう/さらば青春/他全16曲

●指揮/福永陽一郎、北村協一
●合唱/関西学院グリークラブ、慶應義塾ワグネル・ソサエティー男声合唱団、上智大学グリークラブ、同志社グリークラブ、立教大学グリークラブ、早稲田大学グリークラブ

▶お問い合わせは
東芝EMI(株) 第三制作グループ1部 ☎03-587-9035 邦楽販売部 学芸販売グループ ☎03-587-9081